

教育委員会の事務の管理
及び 執行の状況の点検
及び 評価に関する報告書

(令和3年度対象)

宇多津町教育委員会

はじめに

I 目的及び制度の概要

「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」により、効果的な教育行政の推進に資するとともに、町民への説明責任を果たしていくことを目標に、教育委員会は、毎年、その権限に属する事務の管理及び執行の状況について、自己点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を議会に提出するとともに、公表すること、また、その点検・評価に当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図ることになっています。

II 点検・評価の対象

「令和3年度宇多津町教育方針」に基づき、各項目ごとに目指す姿として「施策の目標」との関連で、令和3年度の進捗状況について、点検・評価の対象としました。

III 点検・評価の方法

令和3年度における教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行の状況について、「施策の目標」に掲げている項目の点検・評価表を掲載しています。また、点検・評価の客観性を確保するために、「宇多津町教育評価委員会」を開催し、(令和4年11月28日)地方教育行政の組織及び運営に関する法律第26条第2項に規定する学識経験を有する次の方々から、ご意見をいただきました。

氏 名	所 属 等
会 沢 勲	四国学院大学教授
佐藤 隆之	教職経験者(元中学校教頭)
高儀 雅俊	香川短期大学教授

参考資料 「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」(抜粋)

(教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等)

第26条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務(前条第一項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務(同条第四項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。))を含む。)の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

令和3年度宇多津町教育方針の施策目標の点検・評価調査表

目 次

1. 自ら自分の未来を切り拓く教育の推進

(1) 宇多津町教育連携5か年計画による教育の推進	
① 学習習慣の確立と学ぶ意欲の向上	1
② 英語教育・外国語活動の充実	2
③ 学校における指導過程に位置付けたICTの活用	3
④ 特別支援教育の推進	
・ 特別支援教育	4
・ 教育相談	5
・ 私の成長シート	6
(2) 教職員の資質・能力の向上	
① 改訂学習指導要領の趣旨に沿った授業改善	
② 町連携協議会の充実 ③ ステージ別研修の充実	7
④ 教職員の働き方改革の推進	8
(3) 安心・安全な学校づくり	
① 実践的な防災教育の実施と防災力の向上	9
② 交通安全教育の充実	10
③ 不登校・いじめ等問題行動の未然防止及び指導体制の充実	11
④ 学校情報・地域情報配信の充実	12
(4) 健康教育の推進	
① 安心・安全な学校給食の実施	13
② 家庭と連携した食育の推進並びに生活習慣病の予防促進	14
③ 基本的な生活習慣を身につけるための啓発活動の促進	15
(5) 教育施設的环境整備	
① 学校諸施設の整備・充実	16
② ICT環境の整備・充実	17

2. 地域ぐるみで子どもを育てる環境づくり

(1) 地域と学校が連携・協働した地域づくりの推進	
① 協働活動の充実	18
② 体験活動・交流活動の充実	19
③ 放課後等児童の居場所の充実	20
(2) 他者への思いやりや自尊感情の育成	
① 地域活動への積極的な参加促進	21
② 異年齢交流活動事業の推進	22

(3)	家庭教育活動の推進並びに支援体制づくり	
①	家庭教育支援体制づくり並びに学習機会の拡充	23
②	家庭教育力の向上	24
③	「家庭の日」(毎週第3日曜日)の推進	
(4)	人権尊重の知識を養う人権・同和教育の推進	
①	研修機会の充実	25
②	広報・啓発活動の充実	26
(5)	宇多津を誇りに思う心を育成する教育の推進	
①	地域の伝統文化を学習する機会の充実	
	・ 成人式	27
	・ 宇多津検定	28
(6)	いじめ等問題行動から子どもを守るネットワークの充実	
①	子どもを守るネットワークの整備	
	・ いじめ防止等対策委員会	29
	・ サポートチーム連携協議会	30
	・ 宇多津町虐待防止対策ネットワーク協議会	31
	・ 少年育成センター業務	32

3. 活力ある地域コミュニティの形成

(1)	文化・芸術活動並びに伝統文化伝承活動の推進	
①	研修活動等の充実並びに地域の伝統文化の保存・継承活動の支援	
	・ 令和相聞歌	33
	・ 文化財保護	34
(2)	地域住民ニーズに対応した生涯学習講座の充実	
①	いつでも・どこでも学ぶことができる学習機会の提供	
	・ 女性セミナー	35
	・ 宇多津大学	36
②	住民が学んだ成果を住民のために活かす仕組みづくり「知の循環」	37
(3)	スポーツ・レクリエーション活動の充実	
①	指導者養成並びに活動支援体制づくり	
	・ 大松杯バレーボール大会	38
	・ 激励制度	39
②	スポーツ・レクリエーション活動を気軽に楽しむ場の充実	
	・ スポーツの推進	40
	・ 子どもロードレース	41

令和3年度宇多津町教育方針の施策目標の点検・評価調査表

施策目標	1 自ら自分の未来を切り拓く教育の推進
施策項目	(1) 宇多津町教育連携5か年計画による教育の推進
事業内容	① 学習習慣の確立と学ぶ意欲の向上

令和3年度実施内容

目標値から見た実績値や進捗度が分かるものがあれば、それも記述・図示してください。

新学習指導要領による本格的な取組が始まったが、本町においては第三次宇多津町教育連携5か年計画の5年目を迎え、一つの区切りの年として「対話を通して『誇り・敬い・創意』を育む教育」を念頭に、全国や県の学力・学習状況調査の結果を踏まえつつ、授業改善を目指しての研究実践に取り組んだ。

また、家庭や地域においても、学校・家庭・地域が一体となって子ども達を育てていこうとする意識が高まるよう、教育委員会や各校園所のさまざまな行事や会合、広報紙などを通じて啓発活動を進めた。

1 各校の本年度の重点課題

宇多津小： 各教科の「見方・考え方」を働かせる仕掛けを授業の中で作り、主体的・対話的で深い学びのサイクルを作り上げていく。そのことで、町連携が謳う「5つの喜び」を生み出す授業への改善を目指した。

宇多津北小： クラス全員が参加できる授業を目指したいという願いから、現職教育のテーマを「一人一人が活躍し、高め合い、学ぶ楽しさを味わえる授業を目指して」として取り組んだ。

宇多津中： 「5つの喜び」や指導上の課題改善に向けた取り組みを協議する機会を現職教育に計画的に位置づけ、積極的な研究協議が実施できるようにした。特に、学習課題と生徒をつなぐ手だてについて教科部会等で検討を重ねた。

2 「5つの喜び」アンケートの結果から

今年度の研究の軸となった「5つの喜び」をどのくらい意識して学習に取り組んでいるかを客観的に把握するため、すべての児童生徒や教職員を対象にアンケートを行った。

- ・ 15の質問項目のうち、半数以上の問いで肯定的な回答が80%を超えており、教師の意図的な取組みを児童生徒も実感して学習できている。
- ・ 「考えを創る喜び」については、すべての問いに対して80%以上の肯定的回答が得られた。これは、教師が意図的に既習事項を振り返らせたり見通しを持たせたりしたことの効果と見られる。
- ・ 友だちの意見を聞いて自分の考えを見直したり深めたりという活動は90%近くの子どもができていて考えているが、自分から考えを口にするには若干の抵抗感が感じられる。
- ・ 授業が終わって「もっと知りたい」「もっと考えてみたい」と感じる子どもはそれほど多くなく、予習や復習の低調さともかわりがある。

目標達成に向けた今後の課題

- ・ 今年度、すべての児童生徒を対象に行ったアンケートの中で、「どうしてかな」「不思議だな」「もっと他の考えや方法はないかな」と感じたり、授業後には「もっと知りたい」「もっと考えてみたい」と感じる子どもの割合が低いように感じられる。家庭学習と教室での学習をいかにして結びつけ、深めていくか。また、学習課題の設定の仕方にも重点的に取り組む必要がある。
- ・ 全国や県の学習状況調査において課題となっている「授業が楽しい」と感じる子どもをいかにして増やしていくかということについて、現在の町連携の取組みをさらに充実させていく必要がある。

【学識経験者の意見】

- ・ アンケート結果が良いのは喜ばしいこと。「抵抗感」などはむしろ大切にしたいところである。
- ・ 町全体で授業改善に取り組めており、また各校園にそれぞれ学び合いにおける「形」から入る指導があり、子どもたちには受け入れやすいものになっている。
- ・ アンケートの結果約80%が肯定的な回答ということから、適切な施策と判断できる。「もっと知りたい」等と感じる子どもは…とあるが、日本における知識偏重の教育からは、むしろ達成感を指標とすべきと思われる。

令和3年度宇多津町教育方針の施策目標の点検・評価調査表

施策目標	1 自ら自分の未来を切り拓く教育の推進
施策項目	(1) 宇多津町教育連携5か年計画による教育の推進
	② 英語教育・外国語活動の充実

令和3年度実施内容

目標値から見た実績値や進捗度が分かるものがあれば、それも記述・図示してください。

1. 町教育連携の取組として

平成30年度より3年間、中学校の英語科教員が小学校高学年の外国語活動の授業に入りサポートする取組が香川県で始まった。この制度と、本町が文部科学省から指定を受けている「外国語活動に関する特別の教育課程編成」を活用して小学校の全学年で外国語に関わる活動、学習に取り組むことができた。また、中学校では、グローバルな社会に生きていくために求められるコミュニケーション能力を身につけるために、総合的な学習の時間をALTによるオールイングリッシュの授業に充てて行われている。

2. 各学校（園）の英語教育・外国語活動の取組について

宇多津小学校：担任が外国語の授業に入ることで、児童の学習意欲が高められるように声掛けをした。
小・中学校が連携し、リモートを使って合同授業を行った。

宇多津北小学校：「授業づくり班」において、発達段階に即し、児童が英語を使う楽しさを味わう外国語活動を継続的に展開するために、事業実践に加え、朝の活動「English time」の計画・運営、English roomの環境整備に取り組んだ。

宇多津中学校：ICT機器を活用したプレゼンテーションを行い、表現力の向上に努めた。ALTによるインタビューテストを全生徒を対象に学期に1回実施し、コミュニケーションへの意欲を高めた。
1年生が実用英語検定を受験（大部分が5級）

宇多津幼稚園：月2回、年中児20分間、年長児40分間ALTと一緒に英語に親しむ活動を行っている。
「英語で遊ぼうが好きか」・・・年中児81%が好き 年長児95%が好き

3. 特別の教育課程の実施状況について

	小学校（第1学年・第2学年）	中学校（第1学年・第2学年・第3学年）
内容	<ul style="list-style-type: none"> 英語の歌を歌ったり、踊ったりする。 数（20まで）、動物、色、形、曜日などの英語をゲームや身体表現を使って楽しく遊ぶ。 英語のあいさつ、気持ちのいい方、天気の良い方を学ぶ アルファベットの言い方を学ぶ ペアによるコミュニケーション活動 	<p>英語科の教員と授業の進度を相談しながら、既習文型をもとに授業内容を構成し、リスニング、スピーキングを中心に言語活動を行っている。</p> <ul style="list-style-type: none"> 生徒自身がタブレットを活用し、他の生徒の前でプレゼンテーションを行う。 異文化理解に関するクイズやゲーム形式の活動を継続的に行う。 毎学期インタビューテストを1対1で行い、コミュニケーション能力の向上を図っている。
成果	<ul style="list-style-type: none"> ALTが、ゲームを紹介してくれ、楽しく活動ができています。 ゲームを通して異文化に触れることができています。 ALTとのコミュニケーションや外国語活動に抵抗なく取組んでいる 	<ul style="list-style-type: none"> 1年生が実用英語検定を受験し、合格率86% タブレットを活用しテーマに合った英作文のプリントを作成。ICTを効果的に活用し、英語での自己表現する機会を増やしている。

目標達成に向けた今後の課題

小学校：1～2年生のALTとの外国語活動は2週間に1度実施され、子どもにとっては楽しい時間であるが、発音練習が適当になっている児童が見られる。英語表現の定着のために学級での時間にも積極的に習ったことを繰り返すことが必要である。

中学校：英語で表現する力が弱い生徒が見られる。意欲を持たせて、英文をかけるように授業改善が必要である。授業改善については、ALTと十分打合せをしていきたい。

【学識経験者の意見】

- ・幼小中の全体で「英語・外国語活動」の授業改善に取り組んでいるのがよい。
- ・宇多津の英語教育は一つのモデルと言ってよい。
- ・英語の教育レベルを上げるのであれば、英語は「習うより慣れろ」と言われるように、ALTが小学校は2週間に一度程度の回数を増やす方が効果的と思われる。
- ・中学校は、高校入試があるので、英検を早めに導入するのは適切と思われる。

令和3年度宇多津町教育方針の施策目標の点検・評価調査表

施策目標	1 自ら自分の未来を切り拓く教育の推進
施策項目	(1) 宇多津町教育連携5か年計画による教育の推進
事業内容	③ 学校における指導過程に位置付けたICTの活用

令和3年度実施内容	
目標値から見た実績値や進捗度が分かるものがあれば、それも記述・図示してください。	
1. 導入したタブレット端末の活用	<p>(1) 夏休み期間中、家庭への持ち帰りを行い宿題など学習に活用した。</p> <p>(2) 新型コロナウイルス感染症による学級閉鎖中などリモートで健康観察や学習を行うなどの活用を図った。</p>
2. プログラミング教育の推進 (※2020年小学校、2021年中学校で必修化)	<p>(1) タブレットのソフトを利用しプログラミング学習を行った。</p> <p>(2) 小中学校に1台ずつ設置しているPepper (ソフトバンク) を活用して「プログラミング学習」を進めた。</p> <p>(3) 各校プログラミング学習について (例)</p> <p style="padding-left: 20px;">(小学校) 理科: プログラミング学習で、電気をつけたり消したりした。 算数: プログラミングで図形を作図した。</p> <p style="padding-left: 20px;">(中学校) 技術・家庭科プログラミングの学習において、フローチャートを使ってロボットをどうやって動かせるかを考え、実際に動かしてみた。</p>
3. 情報モラルの教育について	<p>(小学校) 学校や家庭でタブレット端末を使用するにあたり、児童に対しては使用するにあたってのルールやパスワードの管理について、担任が学級で指導を行った。 持ち帰り前に改めて保護者に対しては文書を配布し、啓発を行った。</p> <p>(中学校) 生徒には、各教科、道徳、学年団の集会等でスマホの利用に関する指導や情報モラルについて指導した。 持ち帰り前に改めて保護者に対しては文書を配布し、啓発を行った。</p>
4. 町教育連携専門部会 (PC部会) の開催	<p>(1) 第1回 (6/15) ・長期休業中のタブレット使用における課題についてなど</p> <p>(2) 第2回 (11/9) ・タブレット使用のアンケート結果についてなど</p>

目標達成に向けた今後の課題
<p>○情報活用能力の向上</p> <p>教師が端末等の操作技術のスキルアップを図るよう研修等を行うように努める必要がある。 また、教材などの共有化を図って行く必要がある。</p> <p>○家庭での使用時の課題</p> <p>長期休業後に行った保護者へのアンケートから、家庭で学習以外でタブレットを使用している頻度や使用時間に対する懸念がある。</p>

【学識経験者の意見】

<ul style="list-style-type: none"> ・指導する側、つまり教師側にストレスが生じていないか。また、家庭等でのタブレットの取り扱い、活用の仕方 (学習以外での使用?) の把握が問題である。 ・未来の技術者たちの育成にもつながっていくといい。

令和3年度宇多津町教育方針の施策目標の点検・評価調査表

施策目標	1 自ら自分の未来を切り拓く教育の推進
施策項目	(1) 宇多津町教育連携5か年計画による教育の推進
	④ 特別支援教育の推進 ～特別支援教育～

令和3年度実施内容

目標値から見た実績値や進捗度が分かるものがあれば、それも記述・図示してください。

町では特別な支援が必要な子どもが年々増加傾向にあり、中学校には通級指導の教室が開設された。各学校(園・所)においては、子ども1人1人にあった適切な指導を行うように努めているが、専門的な知識を持っている指導者は少なく、対応に苦慮しているのが現状である。このような中、町教育連携協議会の特別支援教育部会において、保育所から中学校までの特別支援教育に携わっている指導者が集まり、子どもの実態に応じた指導や支援について情報交換を行い学校間の連携を深め、滑らかな移行が図られるよう研修を積み重ねている。

【各学校の状況】

	R元			R2			R3		
	知的	自閉症	肢体	知的	自閉症	弱視	知的	自閉症	弱視
宇多津小学校	①5	②9	①1	①7	①8	①1	①6	①5	0
特別支援学級クラス数・児童数	4クラス・15人			3クラス・16人			2クラス・11人		
通級学級児童数	18			24			25		
宇多津北小学校	②11	①6	①1	②10	①6	0	②9	①4	0
特別支援学級クラス数・児童数	4クラス・18人			3クラス・16人			3クラス・13人		
通級指導教室(巡回指導)児童数	6			5			3		
宇多津中学校	0	①4	0	①2	①6	0	①2	①4	0
特別支援学級クラス数・生徒数	1クラス・4人			2クラス・8人			2クラス・6人		
通級指導教室(巡回指導)生徒数	2			3			9		

【県・町研修】

- (県) 特別支援教育コーディネーター研修会(9月14日)
- (町) 教育支援委員会 年1回(12月9日)、臨時教育支援委員会(3月24日 1回)
- (町) 町連携特別支援教育部会(8月5日、11月25日 2回)
- (町) 町特別支援教育コーディネーター(5名)の町内幼稚園・保育所巡回指導(8月3日 他8~10月に8回)
- (町) 特別支援教育スキルアップセミナー(全5回 香川丸亀養護学校と共催)

【成果】

- ・町連携特別支援教育部会において、特別支援教育コーディネーターより「個別の教育支援計画」の様式についての意見を出し合い、町内の様式・記入方法の共通化を図ることができた。
- ・昨年度から丸亀養護学校の協力をえて、特別支援教育スキルアップセミナーを全5回開催。(現地研修2回を含む)指導者の日頃からの悩みを参加者で共有し、講師から支援の仕方等アドバイスをもらいまた、いくつかの支援ツールの紹介があり、今後の指導に大変役に立った。

目標達成に向けた今後の課題

町内において、現在は特別支援教育のリーダーとなる教員はいるが、何か困りごとがあるとすぐにその教員に頼っているのが現状である。将来を見据えて、次期リーダーとなる存在の育成や個々のコーディネーターのスキルアップを図るために、特別支援教育の専門のアドバイザーに指導をしてもらう必要がある。

【学識経験者の意見】

- ・自閉症児が多いということに少し驚いている。
- ・全国的に特別支援教育対象者は増加しており、対応策が必要である。基本的には、個々の対応が必要であり、行政としては対応職員を増やす必要があると思われる。重症ではない場合が多いので、精神的・知識的に余裕のある退職教職員の活用(嘱託・臨時)などが考えられるのではないかと。

令和3年度宇多津町教育方針の施策目標の点検・評価調査表

施策目標	1 自ら自分の未来を切り拓く教育の推進
施策項目	(1) 宇多津町教育連携5か年計画による教育の推進
事業内容	④ 特別支援教育の推進 ～ 教育相談 ～

令和3年度実施内容	
目標値から見た実績値や進捗度が分かるものがあれば、それも記述・図示してください。	
1. 目的	特別支援学級（学校）に通う児童・生徒及び保護者、発達障害やその疑いのある児童・生徒及び保護者、発達が気かりな幼児等の保護者を対象に、園（所）・学校・家庭が連携し、幼児・児童・生徒の心身の発達に寄与することがねらい。
2. 年間回数および人数	<p>(1) 月1回を原則に、年間13回（4月開始、8月のみ2回）実施。</p> <p>(2) 8月に実施する2回は、就学相談として、就学前年長児及び保護者を対象に教育相談を実施した。また、この教育相談以外にも、保健センターの相談員に依頼して、希望者全員に相談活動を実施している。</p> <p>(3) 相談者延べ人数 定例相談 18人 就学相談 10人</p>
3. 実施体制	<p>(1) 月1回、午後1時～午後5時までを原則に、各4人ずつの予約制。</p> <p>(2) 5名が継続で年間予約し、年間4回の計画で相談を行った。</p> <p>(3) 毎回、原則第1番目の枠13:00～14:00を「新規枠」として確保し、対応している。</p>
4. 相談員委嘱者	<p>(1) 氏名 山地 裕子 先生</p> <p>(2) 資格 言語聴覚士</p>
5. 他機関との連携	<ul style="list-style-type: none"> ・ 所属の園（所）・学校 ・ 医師、施設等の専門機関

目標達成に向けた今後の課題
<ul style="list-style-type: none"> ・ 年度の終わりに次年度の希望を伺い、優先的に継続相談が受けられるよう配慮している。合わせて新規の相談者募集を広報紙を通じて行い、1学期の終わりには追加募集を行った。心配や不安をもった保護者が気軽に最初の一步を踏み出しやすくなるような呼びかけの工夫なども今後は考えていきたい。また、相談者が来庁しやすい時間帯の設定についても検討してみる必要がある。 ・ 夏休みに実施している就学相談は希望者が増加しており、7月や9月にも予約できる枠を設けるなどして間口を広げ、入学後の継続的な支援へとつなげることができればと考えている。

【学識経験者の意見】
<ul style="list-style-type: none"> ・ 回数をさらに増やしてください。 ・ 適切な施策と思われる。 <p style="margin-left: 20px;">教育相談は個々の対応が基本である。</p>

令和3年度宇多津町教育方針の施策目標の点検・評価調査表

施策目標	1 自ら自分の未来を切り拓く教育の推進
施策項目	(1) 宇多津町教育連携5か年計画による教育の推進
事業内容	④ 特別支援教育の推進 ～ 私の成長シート ～

<p>令和3年度実施内容 目標値から見た実績値や進捗度が分かるものがあれば、それも記述・図示してください。</p>
<p>1. 「わたしの成長シート」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 例年実施している町連携小1連絡会を5月25日に開催し、事前打ち合わせを実施した。 ・ 昨年度同様、次年度入学児童にかかる就学指導として、5月26日、幼稚園、保育所、認定こども園等を通して保護者あてに「わたしの成長シート」を配布した。 <p>2. 「わたしの成長シート」に基づいた教育相談の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 「わたしの成長シート」には教育相談の希望の有無を記載する箇所を設けている。令和3年度は、23名の保護者より相談希望があり、希望者の内19名について7月～9月に教育相談を実施した。 ・ 相談の結果は、所属園・所および町特別支援教育コーディネーターに伝え、今後の巡回指導や資料作成の参考にさせていただいた。 ・ 教育相談の結果等を参考に各園・所が教育支援委員会の資料を作成し、委員会で説明を行った。教育支援委員会では、資料をもとに個々の子どもにとって最も適切な指導及び必要な支援が受けられるよう判定された。（特別支援学校0名、特別支援学級3名、通級による指導0名） ・ 相談時に、保護者には「就学前児童健康診断」の日程のお知らせをしたり、また、小学校の特別支援教育コーディネーターには、今回の相談内容で特に気を付けて欲しいことを事前に伝えるようにするなど、連絡を密にとり情報を共有した。

<p>目標達成に向けた今後の課題</p>
<ol style="list-style-type: none"> 1. 「わたしの成長シート」アンケートにより、教育相談を希望する保護者に、相談の日程調整をしているが、今後はアンケートの様式を見直すなどして、つなげる相談者を明確にするよう検討実施し、就学前児童、保護者に対しより細やかな相談の場となるようにしたい。 2. 1で教育相談を受けた保護者が、子育てや就学等についての悩みが少しでも解消できるように、学校のコーディネーターや保健師等に繋いでいく必要がある。令和3年度は学校見学、相談を希望した保護者が4名。 3. 「わたしの成長シート」を十分確認し、相談希望がない保護者についても、問題があると判断された子どもについては、町特別支援教育コーディネーターと相談し、園・所より、保護者に教育相談を勧めてもらう必要がある。 4. 保護者に発達のことや、就学に向けての周知、理解を早くから深めてもらうために5歳児のアンケートを実施するために、各幼稚園等の施設の先生と連携していく必要がある。

<p>【学識経験者の意見】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 相談希望はなくても、必要な子どもをピックアップしていくことは重要です。 ・ 適切な施策と思われる。

令和3年度宇多津町教育方針の施策目標の点検・評価調査表

施策目標	1 自ら自分の未来を切り拓く教育の推進
施策項目	(2) 教職員の資質・能力の向上
事業内容	①改訂学習指導要領の趣旨に沿った授業改善 ②町教育連携協議会の充実 ③ステージ研修の充実

令和3年度実施内容

目標値から見た実績値や進捗度が分かるものがあれば、それも記述・図示してください。

1 改訂学習指導要領の趣旨に沿った授業改善

新学習指導要領の目指す「主体的・対話的で深い学び」の実現に向け、町連携全体においては「子どもが喜びを感じ、生き生きと活動する学びの実現」を重点課題として掲げ、「分かる授業」「楽しい授業」の実践を目指し、「喜び」をキーワードにそれぞれの学校が各校の課題も踏まえつつ、共通のめあてをもって授業改善に取り組んだ。

2 町教育連携協議会の充実 …… 年2回実施。

(1) 第1回 6月28日(月) 宇多津小・宇多津北小・宇多津中宇多津中学校

※ 例年は町内公立の幼保小中の全教職員が一堂に会して実施してきたが、新型コロナウイルス感染症対策として3会場に分かれてステージ別研修を実施した。

(2) 第2回 11月10日(水) 宇多津小・宇多津北小・宇多津中

※ 今回も全員が参加しての授業参観は見送り、ステージ研修を行った。授業参観については、各校園が現職教育の一環として通常行っている研究授業を町内各校園にも公開し、全員が少なくとも一度は参観して授業討議にも参加できるように計画することで、少しでも研修の機会が得られるようにした。

(3) 情報交換部会 保幼小中の関係教職員が集まり、年間計画に従い2～4回実施。

① 小1連絡会 ② 中1連絡会 ③ 健康教育部会 ④ 特別支援教育部会
⑤ 不登校部会 ⑥ 読書指導部会 ⑦ 英語教育部会 ⑧ PC活用部会

(4) 夏季研修 — 本年度は中止 —

3 ステージ別研修の充実

教職員特例法の一部改正を受け、町連携でも年代別の研修を取り入れ、経験年数に応じた共通の課題を持つ教職員どうして研修を深めることで、実践的指導力の向上を図る。

- ・若年研修部会…グループエンカウンターなどを通じてコミュニケーションを図るためのスキルを研修した。また、具体的な事例研修によって実践的な指導力の向上を図った。
- ・ミドル研修部会…プログラミング教育や情報モラル、SSWの講話による研修を行った。
- ・ベテラン研修部会…学校における諸課題について、SCからの助言を得ながらグループ協議を行った。

目標達成に向けた今後の課題

- ・ 少ない授業研究の機会をより有効にしていくため、準備や周知の段階や討議の方法にもタブレットPCの「Jamboard」を活用するなどの工夫が求められる。また、ステージ研についても年間を見通し、ニーズにあった内容により近づけていくための早めの準備が必要ではないか。
- ・ 研修の機会や方法が制限される中、すべての校園や教職員が等しくその目指すところを意識し、主体的に研修に取り組んでいけるよう、そのための意識づけを図っていかなければならない。

【学識経験者の意見】

- ・ 研修が活発な様子がよく分かる。
- ・ 異校種間での授業公開は、お互いに学ぶところが多い研修だと思う。
- ・ 小1連絡会、中1連絡会、不登校部会は、相互信頼に基づき、「何を」共通理解・共通行動し、継続して「誰と」連携していけばよいかを知る重要な部会である。
- ・ 学校事故の事例研修は、きわめて重要である。
- ・ 「分かる授業、楽しい授業」等、適切な施策と思われる。指導要領の改訂後、実施内容が一定になるためには時間＝解釈期間＝が必要なため、適切な施策と思われる。授業参観等についても適切と思われる。
- ・ 全体研修はその効果等から、リモートの活用が必要と思われる。

令和3年度宇多津町教育方針の施策目標の点検・評価調査表

施策目標	1 自ら自分の未来を切り拓く教育の推進
施策項目	(2) 教職員の資質・能力の向上
事業内容	④ 教職員の働き方改革の推進

令和3年度実施内容

目標値から見た実績値や進捗度が分かるものがあれば、それも記述・図示してください。

1. 「教職員の働き方改革実施計画」の策定

当町においては、学校を取り巻く環境の複雑化や多様化に伴って、学校に求められる役割が拡大し、教職員の長時間勤務が常態化しているため、県教育委員会が策定した「教職員の働き方改革プラン」を踏まえて、平成31年1月に「教職員の働き方改革実施計画」を策定し、数値目標を決め計画に基づいて実施している。本町の教育水準の向上を目指すとともに、本計画を着実に実施していくことで、教職員の心身両面の健康を維持しながら、学習指導や生徒指導などの教育活動に誇りをもって取り組むことができる環境づくりを進めている。

2. 町内学校の教職員勤務状況（全職員に対する割合 年平均）

	時間外勤務（時間）	令和元年	令和2年	令和3年
宇多津小学校	～ 45	48.9	64.2	82.6
	45 ～ 80	37.0	22.2	14.2
	80 ～ 100	7.8	11.2	2.0
	100 ～	6.2	2.5	1.2
宇多津北小学校	～ 45	58.5	62.0	57.6
	45 ～ 80	33.2	34.1	34.7
	80 ～ 100	7.8	3.1	6.3
	100 ～	0.5	0.7	1.4
宇多津中学校	～ 45	46.3	64.3	54.4
	45 ～ 80	28.3	20.2	29.6
	80 ～ 100	9.4	8.3	7.9
	100 ～	16	7.2	8.0

3. 働き方改革に向けた町教育委員会及び学校の取組み

- （教育委員会）
- ・ICカードを導入し、月毎に全校職員の勤務状況を把握（各学校より月毎に提出有）
 - ・校務用パソコンの自宅接続
 - ・夏季休業中に学校閉庁日（8/7～8/16）を設けた
 - ・中学校には部活動休養日、活動時間を設定するよう指導している。（日数等は、学校長の判断に任せている。）
 - ・各学校で留守番電話機能の設定
- （各学校）
- ・管理職が全職員の勤務状況を把握し、時間外勤務について、全体の場で指導したり、時間数が多い職員には個別に指導をしている。

目標達成に向けた今後の課題

小中学校において、徐々に時間外勤務時間は減ってはいるが、どの学校も80時間を超えて勤務している教職員は数名いる。勤務時間が超過している職員は毎月大体同じ職員であるので、所属している学校や学年団で業務分掌を再確認したり、自分自身でも減らすような工夫を考えていく必要がある。

【学識経験者の意見】

- ・未来の「先生」たちのためにも、更なる改善をお願いしたい。
- ・基本的には、適切な施策と思われる。ただ、教員の生活は単純な「労働＝時間を売買している」労働資本論では割り切れない面があり、簡単な指標で把握できない面があると思います。
- ・表面には出せないと思いますが、管理職の姿勢が大きな要素と判断します。

令和3年度宇多津町教育方針の施策目標の点検・評価調査表

施策目標	1 自ら自分の未来を切り拓く教育の推進
施策項目	(3) 安心・安全な学校づくり
事業内容	① 実践的な防災教育の実施と防災力の向上

令和3年度実施内容

目標値から見た実績値や進捗度が分かるものがあれば、それも記述・図示してください。

1. 防災研修活動

(1) 教職員研修

シェイクアウト（県民一斉地震防災行動訓練）や避難訓練を実施する前に共通理解を図り、事前指導について協議している。また、職員会等では危機管理マニュアルや校内の避難ルートの見直しなども行われ、いつでも対応できる心構えと危機管理に努めている。

(2) 教職員の共通理解のために

心肺蘇生法、AED、エピペンの使用についての研修に取り組む一方、避難所施設の整備の機会をとらえて町危機管理課の協力のもとで講習を行い、防災に関する共通理解を深めた。

2. 防災教育

幼稚園： 避難訓練年間計画に基づき、年間5回の避難訓練と防災研修を実施した。そのうち、防災研修においては町の危機管理課より講師を招き、防災紙芝居、防災ダック、煙カーテン、水消火器の使い方研修（職員のみ）に取り組んだ。また、不審者対応の避難訓練も行う予定であったが、コロナ禍のため実施できなかった。

宇 小： 県のシェイクアウト訓練に合わせて避難訓練を行った。各学級では防災に関する事前指導を事前に行い、また、事後の指導も丁寧に行った。

宇北小：① 防災研修活動

教職員による研修を実施し、それを受けて地震発生、火災の事象を想定した避難訓練を実施した。

② 防災教育

防災訓練実施後には発達段階に応じて指導を行った。また、かつて災害等が発生した日や教科の学習で災害に関する内容を扱った時には、機をとらえて意識を高める指導を行っている。

宇 中： 年2回の避難訓練を実施した。9月の訓練においては昨年度に引き続いて町危機管理課から講師を招き、DVDの視聴及び避難訓練に対する講評をいただいた。

目標達成に向けた今後の課題

- ・ 災害だけでなく、不審者対応の訓練を年1回は実施する。
- ・ 子どもの安全管理や防犯の観点から、小学校南門と幼稚園東門の施錠を徹底し、また同じ敷地内にある宇多津小学校と宇多津幼稚園の合同避難訓練を定期的実施する。
- ・ 地震を想定した避難訓練を行う。その際、運動場に避難後、大東川が河川崩壊することを想定して2階への垂直避難の訓練も行ったり、近くの高い場所（角山）への避難も行っておく。
- ・ 授業参観の機会を利用して引き渡し訓練を行う。事前に引き渡しカードに記入しておき、それをもとに当日、本人確認を行ってから引き渡すなど、より実際に近い流れを想定して行う。

【学識経験者の意見】

- ・ 充実していて、よいと思う。
- ・ 避難訓練の他に不審者対策まで行うのは適切な施策と思う。
- ・ 避難訓練の終結は高い場所への避難であり、角山への避難は大切だと思う。

令和3年度宇多津町教育方針の施策目標の点検・評価調査表

施策目標	1 自ら自分の未来を切り拓く教育の推進
施策項目	(3) 安心・安全な学校づくり
事業内容	② 交通安全教育の充実

令和3年度実施内容 目標値から見た実績値や進捗度が分かるものがあれば、それも記述・図示してください。

(取組み)			
	目 標	登下校指導	交通安全教室
小 宇 多 津 校	「自分の命は自分で守る」という安全意識と実践的な態度を育む交通安全指導に努める。	・登校時の立哨指導。 ・担当する地区の危険箇所点検、現地指導 ・リーダー指導、班長会で指導	・交通安全教室（4月 1年生）
宇 多 津 北 小 学 校	児童の安全に対する意識を高め、交通ルールを守って、安全に生活ができる児童を育てる。また、子どもSOSマップ等を活用し、校内外の様々な場面で進んで自分の命を守ることができる児童を育てる。	・登校時の立哨指導。 ・担当する地区の危険箇所点検、現地指導 ・地域やPTAと連携し、現地指導の情報を共有し、様々な指導に活用。	・交通安全教室・・・中止 ・自転車実技指導（4年 DVD視聴）
中 宇 多 津 校	命の大切さを認識し、交通ルールを守り、安全に通学する態度を身に付けさせる。また、交通マナーを理解し、地域の人に迷惑をかけないように、社会の一員としての態度やモラルを育む。	・通学路の安全確認 ・交通法規の意義と安全についての講話 ・交通事故の加害と被害についての講話 ・一斉下校時の下校指導	・交通安全教室・・・（4月 1年生） ・自転車点検
幼 宇 多 津 園	身に迫る危険を自分の目で確かめたり、耳で聞いて感じたりして、自分の命を自分で守ろうとする態度を養う。	・駐車場との往復は、親子で手をつないで歩くことを含め、徒歩通園をするよう保護者に話した。 ・園外保育時に安全な道の歩き方を指導。	・こじかクラブ入会式（4月 PTA総会時） ・交通安全紙芝居、DVD視聴 ・就学前交通安全教室。（2月末）

(組 織 活 動)

PTA・・・立哨指導、地域安全パトロール 学校支援ボランティア・・・登下校の見守り
 少年育成センター・・・巡回指導 青パト・・・町内巡回 交通指導員・・・登校指導
 町交通安全プログラムによる合同点検・・・関係者が集まり、学校提出の危険箇所等の情報をもとに合同点検を実施し、実際に危険性等を確認し、警察等の専門機関の指導を受け、県担当課に報告。

目標達成に向けた今後の課題

- (町) 町内の危険箇所の情報が十分共有できていないので、合同点検を行い関係者が危険箇所を知ると同時に、ホームページでも危険箇所等を周知し、保護者等が危険箇所を知り、交通安全等について子どもと一緒に考える機会としていく。
- (幼) 日常生活の中で、歩く機会が減っているため、トレッキングや園外保育を継続的に取り入れ、その中で、道の歩き方や止まり方など、交通安全について学ぶ機会としていく。
- (宇小) 交通ルールを守り、自分自身で安全を守るという意識が持てるよう、交通教室や自転車教室を開催したり、また、各学級で機会を見つけ繰り返し指導していく。
- (北小) 交通ルールを守り、児童自らが安全に生活するという意識が持てるよう、交通安全教室の開催や定期的な登下校指導を通して、繰り返し粘り強く指導をしていく。
- (中) 自転車マナーの悪さが指摘されているので、全校や学級において、機会を見つけて、1列運転、交差点を横断する時には一旦停止を確実に実行、ヘルメット着用、ながら運転の禁止等を繰り返し指導していくことが必要である。

【学識経験者の意見】

- ・中学校での取り組みの大変さが分かります。
- ・校区内の交通状況を把握しておくことが大切。町内の登下校の通学路は大東川と旧11号線で4区分できる。
- ・接触事故多発地点を現場で理解してることが重要。
- ・中学生の自転車について、道交法の改正＝自転車は車両であるという意識教育の必要性を感じる。

令和3年度宇多津町教育方針の施策目標の点検・評価調査表

施策目標	1 自ら自分の未来を切り拓く教育の推進
施策項目	(3) 安心・安全な学校づくり
事業内容	③ 問題行動等の未然防止・指導体制の充実

令和3年度実施内容

目標値から見た実績値や進捗度が分かるものがあれば、それも記述・図示してください。

1. 文部科学省による調査から

(1)	暴力	対教師	破損	いじめ	解消	不登校	解消	指導中	自殺
小	0	0	0	33	32	10	1	9	0
北	2	1	0	27	25	6	0	6	0
中	1	1	0	55	43	37	0	37	0

(2) 結果からの考察

令和2年度にいじめ・暴力行為の判断基準を町として明らかにし、「いじめは受けた側の心身の状況から積極的に認知し、それを職員全体で共有して多くの目で見守っていく」という方針を定めた。その結果、いじめの認知数そのものは多いものの、昨年度に引き続いて概ね落ち着いた学校生活が送れている。年齢的には低年齢になるほど単純な動機による言葉や行動による嫌がらせが多く、逆に中学校ではSNS等による嫌がらせ行為が目立ち始めており、家庭の協力も織り込んだ啓発や指導が求められる。

不登校についても大きな人数の変動はなく、中学校で特に多くの不登校生徒がみられる中、スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカー、生活支援員を活用しての情報収集や家庭との信頼関係の構築に努めている。

2. 生徒指導に対する施策

(1) 校内の組織的努力

- ① 教職員が一体となって、未然防止と早期発見・早期対応にあたるなどの取組や、家庭・地域社会等の理解を得て、地域ぐるみでの取組を推進している。
- ② 「チーム学校」の構築… 問題を学級担任や担当教員だけで抱え込まず、管理職、養護教諭、SC、SSW、SSTなど学校全体がチームとして機能するよう努めている。

(2) 外部専門家を活用した連携による対策

- ① 町においては包括支援センターや少年育成センターとの連携を図って見守りや相談等の活動に継続的に取り組んでいる。
- ② 地域ぐるみの連携として「いじめ防止等対策委員会」や「サポートチーム連携協議会」、民生児童委員や少年育成センターの協力も得ている。
- ③ 事案によっては、児童相談所や中讃保健事務所、家庭支援センター等による家庭全体への支援が必要な場合もあり、総合的見地からの取組を推進している。

目標達成に向けた今後の課題

- ・ いじめの「見逃し事案ゼロ」を目指し、学校全体で情報を共有できる体制を整えていじめの早期発見、早期対応を目指す。
- ・ 一人一人の子どもの長所や頑張りに向け、お互いの良さを素直に認め合えるような関係作りに努めることで、自己肯定感や自己有用感の涵養に努める。
- ・ 不登校傾向にある児童生徒の「学びたい」という気持ちに応えるため、教育支援センターの効果的な活用方法やタブレット端末を活用しての学力保障の方向を探る一方、多様な居場所の確保についても検討していく。

【学識経験者の意見】

- ・ SNSでのいじめの増加には注意が必要。
- ・ 新しい「生徒指導提要」も意識して取り組んでください。
- ・ 未然防止には、配慮や理解が必要な児童生徒について情報共有することが大切。
- ・ 教師間の「報告・連絡・相談」が大切。教師一人で、または学校だけで抱え込まない。
- ・ 事実と揣摩臆測を峻別した記録を残していくことが大切。
- ・ 基本的には、適切な施策と思われる。基本的には担任がキーマンであるが、児童生徒が担任と合わない場合はどのように対応するのか、複数の経路をつくる必要があると思われる。

令和3年度宇多津町教育方針の施策目標の点検・評価調査表

施策目標	1 自ら自分の未来を切り拓く教育の推進
施策項目	(3) 安心・安全な学校づくり
事業内容	④ 学校情報・地域情報配信の充実

令和3年度実施内容																					
目標値から見た実績値や進捗度が分かるものがあれば、それも記述・図示してください。																					
1. メール配信の登録	令和3年度メール登録件数 1,496件																				
2. 不審者情報の配信	<ul style="list-style-type: none"> ・ 県警本部からの「子ども安全情報」の提供があれば、教育委員会から不審者情報の配信を実施。 ・ 香川県警察ヨイチスマートメールに登録し、より速やかな情報の収集に役立っている。 ・ 宇多津町福祉施策の一環として、認知症などで高齢者の行方不明者が発生した場合の一斉配信にも活用している。 																				
3. 学校からのメール配信	<ul style="list-style-type: none"> ・ そのほか災害情報（気象警報等）による登下校時間の変更、コロナウイルス感染症に関する通知や臨時休校及び学校行事等の情報について、教育委員会及び各幼稚園、学校からメール配信を実施。 ・ 令和3年度メール配信件数 <table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 30%;">学校教育課</td> <td style="width: 20%;">35件</td> <td style="width: 30%;">宇多津小学校</td> <td style="width: 20%;">120件</td> </tr> <tr> <td>生涯学習課</td> <td>21件</td> <td>宇多津北小学校</td> <td>150件</td> </tr> <tr> <td>宇多津幼稚園</td> <td>28件</td> <td>宇多津中学校</td> <td>49件</td> </tr> <tr> <td>少年育成センター</td> <td>34件</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td style="text-align: right;">合 計</td> <td>437件</td> </tr> </table> 	学校教育課	35件	宇多津小学校	120件	生涯学習課	21件	宇多津北小学校	150件	宇多津幼稚園	28件	宇多津中学校	49件	少年育成センター	34件					合 計	437件
学校教育課	35件	宇多津小学校	120件																		
生涯学習課	21件	宇多津北小学校	150件																		
宇多津幼稚園	28件	宇多津中学校	49件																		
少年育成センター	34件																				
		合 計	437件																		
4. 学校配信メールの見直し	<p>これまでの課題を達成するために、今年度より学校配信メールシステムの見直しを行い新しい配信システムに変更した。</p> <p>【改善点】</p> <ul style="list-style-type: none"> ①各学校が学年、クラスを指定してメール配信ができる。 ②配信メールにアンケートを添付できる。 ③各学校で登録者管理ができるため、卒業した児童生徒の登録を一斉に削除でき、入学生の登録も学校単位でできる。 ④不審者情報や気象警報等の登録者一斉メール配信は、今までと変わらず教育委員会が行う。 																				

目標達成に向けた今後の課題
今後メール配信システムの利活用について、検討していく必要がある。

【学識経験者の意見】
<ul style="list-style-type: none"> ・ 【改善点】がとても良い。 ・ 適切な施策と思われる ・ 学校管理のシステム化をお願いしたい。

令和3年度宇多津町教育方針の施策目標の点検・評価調査表

施策目標	1 自ら自分の未来を切り拓く教育の推進
施策項目	(4) 健康教育の推進
事業内容	① 安心・安全な学校給食の実施

令和3年度実施内容

○食物アレルギー対応

1 具体的な対応

・新入生の対応

学校等は入園願書受付時・就学時健康診断時に必要書類を全ての保護者へ配布・提出依頼及び食物アレルギー対応内容を説明した。

・アレルギー対応希望者（新規）

保護者から希望があった場合、学校は必要書類を配布し、学校または教育委員会に提出した。

・対応継続時（学年、施設が上がる場合）

学校等は対応を継続して希望する保護者に必要書類を配布する。教育委員会は提出された書類をもとに審査を行う。ただし施設が変わる（幼稚園から小学校など）場合は面談も執り行った。

2. 個別面談

教育委員会は提出された書類をもとに個別面談を開き、保護者からアレルギー症状の聞き取りを行い、学校関係者、栄養教諭、給食センター事業者と情報を共有し、対応内容を保護者に説明した後に対応を決定した。

3. 対応決定

教育委員会は対応決定通知を保護者に送付し、学校ごとに対応内容をまとめた一覧を学校、給食センター事業者へ送付した。

4. アレルギー対応食指示書（毎月栄養教諭作成）

栄養教諭、調理委託業者で打合せを行い、対応食について確認を行った。

5. 保護者への対応（毎月）

予定献立表を配布し、最終確認を行った。

6. 対象者数（令和4年3月31日現在）

中央保育所 3名、宇多津幼稚園 3名、宇多津小学校 11名
宇多津北小学校 17名、宇多津中学校 11名 計 45名

○異物混入時の対応経路（略式）

- ①異物発見 ②当該クラスの給食中断(担任) ③担任→教頭→校長に連絡
- ④教頭→教育委員会に連絡
- ⑤教育委員会→宇多津給食サービス、宇多津町給食センターに連絡
- ⑥当該献立の中止連絡 ⑦給食サービスによる異物混入経路の調査、代替食の手配等
- ⑧健康被害調査及び保護者に対策等の説明

○異物混入報告件数 令和元年度：4件 令和2年度：2件 令和3年度：3件

○各施設情報共有について

小中学校への公務支援パソコン導入に伴い、マニュアルや様式、配膳時の留意点などをデータで共有し、情報共有の浸透を図った。

目標達成に向けた今後の課題

- ・アナフィラキシーショック発生時に対応するため、香川県小児科医会が作成した「アレルギー対応緊急マニュアル」に基づき、エピペンを使った研修を継続して行う。
- ・対象児童について、校内で情報を共有し、共通理解を図る。他の児童についても、アレルギーに対して理解を深めるように努める。
- ・マニュアルの運用に当たり、全ての児童・生徒に安全な給食を提供するため、適切に改訂を行う。

【学識経験者の意見】

- ・丁寧な仕事が行われている。
- ・異物混入時の対応経路ができており、それが明記されている。
- ・適切な施策と思われる

令和3年度宇多津町教育方針の施策目標の点検・評価調査表

施策目標	1 自ら自分の未来を切り拓く教育の推進
施策項目	(4) 健康教育の推進
事業内容	② 家庭と連携した食育の推進並びに生活習慣病の予防促進

令和3年度実施内容

目標値から見た実績値や進捗度が分かるものがあれば、それも記述・図示してください。

1. 対象者 小学校・・・4年生（156名） 6月実施
中学校・・・1年生（148名） 6月実施
2. 検査項目と結果
肝機能検査：GOT（AST）・GTP（ALT）・γ-GTP
脂質検査：総コレステロール・HDL-コレステロール・LDL-コレステロール・中性脂肪
糖尿病検査：HbA1c（NGSP）
貧血検査：赤血球数・色素量・ヘマトクリット
☆一次検査受診者：小学校136名・中学校133名
観察者（内要精検査者）：小学校41名〔30.1%〕（11名）・中学校28名〔21.0%〕（5名）
☆二次検査受診者：小学校22名・中学校13名 一次検査観察者との割合〔小53.7% 中46.4%〕
観察者（内要精検査者）：小学校20名〔90.9%〕（18名）・中学校 8名〔61.5%〕（8名）
3. 個別指導の必要な児童について
 - ・ 今年度は血液検査を例年通りの6月に実施できた。
 - 昨年度から大きな変化はないが、肥満よりやせが増えてきたことが気になると今年度1月に開催した「宇多津町小児生活習慣病予防対策委員会」で協議にあがった。
 - また、令和2年度の委員会で判定基準について問い合わせがあったので、香川県に確認して「香川県小児生活習慣病予防健診マニュアル」の各種判定基準ややせ・肥満の管理フローチャートを取寄せて委員会で話し合った。

目標達成に向けた今後の課題

1. 前年度に設置した「宇多津町小児生活習慣病予防対策委員会」では、学校医・保健師・養護教諭等が参加して幅広い意見交換ができる場になり、今後の指導につなげる必要がある。
2. 香川県小児生活習慣病予防対策で令和元年度から中学1年も補助金の対象とし、小学4年の検査結果と、中学1年の検査結果とのデータの紐づけをし、どう変化しているかを統計化している。このことを踏まえて町としても独自に分析等実施し、学校と連携して保護者に周知、理解してもらいたい。「子どもの時から良い生活習慣を身につける」ことを広めていきたい。

【学識経験者の意見】

- ・（子どもたちの食生活には）かなり問題があるようで、大変驚いている。
- ・適切な施策と思われる。

令和3年度宇多津町教育方針の施策目標の点検・評価調査表

施策目標	1 自ら自分の未来を切り拓く教育の推進
施策項目	(4) 健康教育の推進
事業内容	③ 基本的な生活習慣を身につけるための啓発活動の促進

令和3年度実施内容

目標値から見た実績値や進捗度が分かるものがあれば、それも記述・図示してください。

①早朝ラジオ体操

- ・目的：ラジオ体操参加により、規則正しい生活を送る。
地域の方や近隣の子どもたちと交流の場を設ける。
- ・日時：夏休み期間中（7/21～8/31）
午前6時30分～ラジオに合わせて約10分間
- ・場所：町内21会場 参加者：1,156人（昨対比▲117人）
- ・周知方法：各幼稚園保育園こども園、小学校、中学校へ出席カードと日程表を配布した。
他町広報誌、自治会回覧（一部地区）にて周知した。
- ・中学生以下参加人数【学校（園）からの記念品希望者報告人数のため参考程度】
宇多津幼稚園16名 宇多津小学校83名 宇多津北小学校77名 宇多津中学校286名

②広報等での啓発

- ・7、8月の家庭教育啓発月間にあわせて、町広報で規則正しい生活習慣の維持を促す記事を掲載。県教育委員会の「早寝・早起き・朝ごはん」啓発キャラクター「カイケツ朝ごはん」も活用し、誰もが親しみやすい記事とした。
- ・各学校の栄養教諭と協力し、給食の献立表の裏面を用いて「早寝・早起き・朝ごはん」に関する調査結果の紹介や、主に朝ごはんについて啓発する記事を掲載。

目標達成に向けた今後の課題

- ・ラジオ体操の参加者は、昨年度は一時的に増加したが今年度は再び減少した。感染症の終息のめども立たず、今後も減少傾向が続くと考えられるので啓発活動を積極的に行い、ラジオ体操を通して、基本的な生活習慣である「早寝・早起き・朝ごはん」を推進する。
- ・子ども会や自治会の衰退などでお世話を下さる住民の方がいなくなったり、負担が大きい地区がある。負担を減らすため、スポーツ協会等の集まりの際に協力者を募る。
- ・各会場からの人数報告の際、中学生以下の参加人数も調査して参加状況を把握し、子ども達が基本的な生活習慣を身につけられるよう考慮していく。
- ・家庭教育啓発月間では、「早寝・早起き・朝ごはん」や「あいさつ」をはじめとした、望ましい生活習慣づくりに地域一体となって取り組む必要がある。

【学識経験者の意見】

- ・ここは忍耐強く続けることが大切だと思います。
- ・適切な施策と思われる。

令和3年度宇多津町教育方針の施策目標の点検・評価調査表

施策目標	1 自ら自分の未来を切り拓く教育の推進
施策項目	(5) 教育施設的环境整備
	① 学校諸施設の整備・充実

令和3年度実施内容

目標値から見た実績値や進捗度が分かるものがあれば、それも記述・図示してください。

「宇多津町公共施設等総合管理計画」に基づいて、町内学校・社会教育施設の老朽化等の状況を把握し、学校・社会教育施設の役割を考慮したうえで、中長期的な維持管理に係るトータルコストの縮減及び予算の平準化を図りつつ、学校施設に求められる機能・性能を確保することを目的に、令和2年度に「宇多津町学校施設長寿命化計画(個別施設計画)」を策定し、計画に基づいた施設整備を図っている。

「工事及び環境整備」

(単位：円)

(全 体) 次年度に宇多津小学校町民体育館及び宇多津北小学校体育館の空調設備設置工事に向けて改修計画等を作成し、それに基づいて実施設計を委託

(宇多津幼稚園)	・ 保育室入口ドアガラス飛散防止フィルム貼り工事	146,300
	・ 駐車場集水桝改修工事	181,500
	・ Wi-Fi環境拡張工事	102,300
	・ 遊具撤去工事	154,000
(宇多津小学校)	・ 新管理棟(みどりの広場前)パラペット落下防止ネット貼り工事	1,298,000
	・ 図書室アクセスポイント追加工事	141,350
	・ 理科室換気扇取替工事	165,000
	・ ジャングルジム設置工事	1,089,000
(宇多津北小学校)	・ ケーブルテレビ導入工事	84,700
	・ プール・シャワー行き給水配管改修工事	55,000
	・ 校長室空調設備改修工事	770,000
	・ 1・3年教室黒板灯交換工事	1,024,100
	・ 防犯カメラ設置工事	1,265,000
(宇多津中学校)	・ 体育館排煙窓修繕工事	1,298,000
	・ 職員室横網戸新設工事	41,800
	・ アクセスポイント追加工事	249,700

目標達成に向けた今後の課題

「宇多津町学校施設長寿命化計画(個別施設計画)」に基づいて、修繕・工事を実施していく。

令和4年度予定

宇多津幼稚園: 星形登はん棒設置工事

宇多津小学校: 町民体育館空調設備設置工事、庇改修工事、防犯カメラ設置工事

宇多津北小学校: 体育館空調設備設置工事、防犯カメラ追加設置工事、小荷物昇降機改修工事、エレベーター機能維持工事

宇多津中学校: 玄関石かまち改修工事

【学識経験者の意見】

- ・ 適正な内容だと思います。
- ・ 適切な施策と思われる。

令和3年度宇多津町教育方針の施策目標の点検・評価調査表

施策目標	1 自ら自分の未来を切り拓く教育の推進
施策項目	(5) 教育施設的环境整備
事業内容	② ICT環境の整備・充実

令和3年度実施内容

目標値から見た実績値や進捗度が分かるものがあれば、それも記述・図示してください。

1. 令和2年度までの主な取組み

- (1) 国のGIGAスクール構想の実現に向けて、補助金を活用して町内全小中学校に整備
 - ① 1人1台端末の整備 chromebook1600台(宇小444台 北小622台 中学校534台)(整備時)
 - ② 家庭学習のための通信機器整備(1月)Wi-Fiルータ90台(各校30台ずつ)
- (2) プログラミング的思考を育むためのツールとして小中学校で1台ずつPepper(ソフトバンク)を活用
- (3) Web学習サービスとしてスタディアプリを導入し、小中学校で家庭学習や補充学習に利用
- (4) 小学校に校務支援システムを導入

2. 令和3年度 of 取組み

中学校に校務支援システムを導入し、校務用パソコンリースの更新

各施設ごとのICT関連機器・ソフト等の整備状況

ハード	タブレットパソコン (学習用)	ノートパソコン (校務用)	印刷機	大判プリンター	プロジェクター	実物投影装置
小学校	444	40	4	1	2	20
北小学校	622	47	4	1	2	23
中学校	534	43	5	1	4	4
備考	R2の整備時					

ソフト	タブレットOS	Web学習支援	ホームページ	グループウェア
小学校	Google	スタディアプリ	ふれあい通信	T-Comp@ss
北小学校	Google	スタディアプリ	ふれあい通信	T-Comp@ss
中学校	Google	スタディアプリ	ふれあい通信	T-Comp@ss
備考				

目標達成に向けた今後の課題

- ・整備したハードの更新に伴う負担が大きな課題である。

【学識経験者の意見】

- ・ハードは整ってきたということであり、これからは質(ソフト)が課題となります。
- ・教育施設的环境整備において、ICT化は教育行政の支援により大きく改善された。

令和3年度宇多津町教育方針の施策目標の点検・評価調査表

施策目標	2 地域ぐるみで子どもを育てる環境づくり
施策項目	(1) 地域と学校が連携・協働した地域づくりの推進
事業内容	① 協働活動の充実

令和3年度実施内容

目標値から見た実績値や進捗度が分かるものがあれば、それも記述・図示してください。

＜地域学校協働活動推進事業＞

1. 事業の目的

地域と学校が連携・協働し、学校を核とした地域づくりを進め、未来を担う子どもたちの成長を地域全体で支えるため、社会総がかりで教育を行うことを目的とする。

2. 事業の趣旨

学習支援、環境整備支援、登下校見守り等の学校が必要とする支援活動を行い、教員の子どもと向き合う時間の拡充や地域の活性化を図るものである。

3. 具体的取組み件数

	令和2年度					令和3年度				
	学習支援	環境整備支援	登下校支援(※)	その他	計	学習支援	環境整備支援	登下校支援(※)	その他	計
①宇多津幼稚園	11	0	0	207	218	33	0	16	173	222
②宇多津小学校	170	138	562	53	923	122	84	772	79	1057
③宇多津北小学校	116	120	1384	303	1923	80	16	675	196	967
④宇多津中学校	72	0	270	23	365	66	0	445	5	516

(※)登下校支援について、保護者定期交通立哨、随時見守り・パトロール分は除く

4. その他

- ・本部会議（3回開催 内1回書面報告）
- ・学校応援ボランティア募集のパンフレットを作成して、町広報誌にて全戸配布した。
- ・学校支援活動以外の社会教育分野の活動充実のための検討を継続実施中である。
- ・本部会議で学校運営協議会の報告をすることで、地域と学校の連携・協働できる体制づくりに努めた。

目標達成に向けた今後の課題

- ・学校が求めていること、地域が協力したいことの把握に努める。
- ・広報活動及び活動実績を周知することで地域への呼びかけを行い、新規協力者を募ると共に、活動の継続性・発展性に努める。
- ・学校活動を中心とした活動のみでなく、既存団体や地域住民との協働活動を検討して、実際の地域教育活動につなげるよう努める。
- ・新型コロナウイルス感染症の拡大状況の中で、今後の状況に応じて見極め、活動の在り方を検討する。

【学識経験者の意見】

- ・学校と地域の連携を進めていくことは非常に大切なことだと考える。
- ・各学校単位と思われるが、特に問題ないと思われる。

令和3年度宇多津町教育方針の施策目標の点検・評価調査表

施策目標	2 地域ぐるみで子どもを育てる環境づくり
施策項目	(1) 地域と学校が連携・協働した地域づくりの推進
事業内容	② 体験活動・交流活動の充実

令和3年度実施内容

目標値から見た実績値や進捗度が分かるものがあれば、それも記述・図示してください。

(うたづ寺子屋)

1. 実施日時及び会場
 令和3年7月27日(火) 南隆寺
 令和3年7月28日(水) 聖通寺
 令和3年7月29日(木) 宇夫階神社
2. 実施事業
 ・早朝学習 ・坐禅・写経体験 ・住職さんからのお話
 ・昔の宇多津を写真で見る(古街ガイドの方々) ・お祭りについて(太鼓台保存会)
3. 参加人数
 ①申込者数 宇小11名(11名) 北小14名(28名) 計25名(39名)
 ②延べ参加者数 宇小30名(35名) 北小27名(63名) 計98名(98名)
 (カッコ内は前年度実績値)

(うたづ寺子屋土曜塾)

- ・新型コロナウイルス感染症拡大のため中止。

目標達成に向けた今後の課題

(うたづ寺子屋)

1. 会場について
 町内寺社に会場協力について問合せを実施。次年度以降も予定を確認し、会場を決定する。
 宗派の関係でどうしても会場に偏りが出てしまうが年度ごとに可能な限り新しい会場を選定する。
2. 実施事業について
 本年度より昔ながらの寺子屋を目指すため学習の時間を主とし、講座は一日一つとした。
 子ども達は学習時間に協力下さった先生方へ質問していたため良いものであったと考える。
3. 実施時期・人数について
 新型コロナウイルス感染症の拡大状況なども考慮して例年8月末に行っていたものを夏休み最初の7月に行った。また参加人数は密にもならずちょうど良い人数であったが、感染症対策のため中学生ボランティアの参加は見送った。来年度も本年度同様、開催時期にとらわれずに感染症の拡大状況を考慮しながら開催を目指す。

(うたづ寺子屋土曜塾)

うたづ寺子屋の講座を少なくした分、土曜塾で屋外の体験型を計画していたが感染症が拡大したため中止となった。来年度は感染症の拡大状況も考慮しながら可能な限り開催を目指す。

【学識経験者の意見】

- ・この活動を大切にしている姿勢に感動します。
- ・適切な施策と思われる。

令和3年度宇多津町教育方針の施策目標の点検・評価調査表

施策目標	2 地域ぐるみで子どもを育てる環境づくり
施策項目	(1) 地域と学校が連携・協働した地域づくりの推進
事業内容	③ 放課後等児童の居場所の充実

令和3年度実施内容
目標値から見た実績値や進捗度が分かるものがあれば、それも記述・図示してください。

1. 放課後子ども教室（小学4年生～小学6年生）

	名称	場所	活動日 (活動時間)	活動日数 (年間)	登録数	延べ数
スポーツ活動	卓球教室①	北小学校体育館	毎週：水曜日 (下校後～17:00)	18	15	198
	バドミントン教室	北小学校体育館			17	270
	卓球教室②	宇多津小学校第1体育館			6	72
	ドッジボール教室	宇多津小学校プレイルーム			10	180
支援課題	宿題サポート教室①	宇多津小学校内	毎週：月火木金/曜日 (下校後～17:00)	92	10	460
	宿題サポート教室②	北小学校内			105	1575

2. 放課後児童育成クラブ（小学1年生～小学4年生）

	名称	場所	活動日 (活動時間)	活動日数	登録数	延べ数
宇校 小区	宇多津放課後 第1スマイルクラブ	宇多津小学校内	平日 (下校後～18:00) (延長保育19:00)	232	40	4166
	宇多津放課後 第2スマイルクラブ			232	39	3730
北校 小区	宇多津北放課後 第1キッズクラブ	キッズプラザうたづ内	長期休業期間 (8:00～18:00) (延長保育19:00) 土曜日 (8:30～12:30)	241	36	4659
	宇多津北放課後 第2キッズクラブ	民有地借り上げ施設		234	40	4451
	宇多津北放課後 ジュニアクラブ	北小学校内		233	35	4178

目標達成に向けた今後の課題

- ＜放課後子ども教室＞
 - 各教室の活動について
終息しないコロナ禍の中ではあるが、年間を通じた活動の継続を目標とする。
また今後も、指導者と育成センターとのコミュニケーションを図ることにより、理解と協力を呼びかけ、指導者の確保に努める。
 - スポーツ活動について
ドッジボール教室の登録者数が減少しているため、活動内容について検討していく。
- ＜放課後児童育成クラブ＞
 - 支援員の確保について
年度毎の再任用により、長年におよぶ従事者も多く支援員数は安定している。
今後は支援員確保に向け、勤務年数による賃金（時給額）昇給などの待遇改善が課題である。
 - 利用料（保育料・おやつ代）の集金について
現金徴収から口座引き落としへの移行について検討していく必要がある。

【学識経験者の意見】

- ・利用料の集金方法については、もう口座引き落としにすべき時です。
- ・対象が4年生以上なので（指導者の問題はあがるが）バレーボールなど中学校の部活動で使える種目を考えてはどうか。
- ・両親が働いている等の児童が、この教室を利用しているのならば、保育料・おやつ代は町で負担する方向はどうか。（受益者負担との考えもあるが）

令和3年度宇多津町教育方針の施策目標の点検・評価調査表

施策目標	2 地域ぐるみで子どもを育てる環境づくり
施策項目	(2) 他者への思いやりや自尊感情の育成
事業内容	① 地域活動への積極的な参加促進

令和3年度実施内容

目標値から見た実績値や進捗度が分かるものがあれば、それも記述・図示してください。

1 具体的実践内容

(1) 宇多津幼稚園

- ・ 年齢が小さいので園外に出てボランティア活動をするのは難しいが、園内活動において、自分たちが使う場を整えたりきれいに掃除したりして、人の役に立つことの喜びやボランティア精神の土台を培っている。

例) ・ おそうじデー (月1回程度) … 園庭の草抜きや石拾い等

- ・ プール清掃… 以前はPTA活動としていたが、自分たちが使うプールなので4・5歳児と職員で行っている。

- ・ あいさつ運動… 毎月第3月曜日には、年長児が婦人会の人と一緒に通用門であいさつ運動をしている。

(2) 宇多津小学校

- ・ 地域の方々が参加して行われるボランティア活動を全校放送や手紙で紹介し、児童に呼び掛けて参加者を募った。

(3) 宇多津北小学校

- ・ 全学級に週1回「ちょボラタイム」を位置づけ、各学級で内容を考えて取り組んだ。
- ・ 登下校時におけるごみ拾いボランティアなど、こうした状況下でもできる活動に取り組んだ。
- ・ 宇北っ子ががんばりカードを活用した取り組みや、ボランティア銀行の活動にも取り組んだ。

(4) 宇多津中学校

- ・ コロナ禍のため校外で行う活動にはいろいろと制限があったため、ボランティア委員会を中心に校内で積極的に活動を行った。家庭で不要な物を回収してリサイクルに回したり、社会福祉協議会を通じて必要な方に寄贈したりした。

(例) 長期保存のきく食品 ・ 学用品 ・ 書き損じハガキ ・ 使用済み切手 ・ 牛乳パック

- ・ 毎朝、1年生有志が運動場や玄関を中心に清掃活動を行った。
- ・ 「みんなで子どもを育てる県民運動」推進大会で表彰され、「令和3年度学校C02C02削減コンテストin香川」では最優秀賞受賞を受賞した。

2 ボランティア銀行に贈呈されたハート数と各団体等への贈呈品

宇多津小 273, 272ハート 宇多津北小学校 462, 470ハート 宇多津中 23, 200ハート

- 【主な寄贈品】 ・ 子ども食堂運営資金 ・ 車いす、歩行器、集音器等購入
 ・ 災害V Cシミュレーションゲーム ・ 花植え活動への補助
 ・ みんなのハロウィン活動資金 ・ 駅前清掃活動補助 等

目標達成に向けた今後の課題

- ・ 今後、コロナが収束したときに児童が地域の一員として積極的に参加できるよう、意識づけを継続して行っておく必要がある。コロナの状況を見ながらではあるが、地域とのつながりが保てる機会を模索しつつ、子どもや保護者にとって豊かな経験が味わえるようにしていきたい。
- ・ 「感謝のつどい」などの行事を行い、地域の方々と交流の機会を設定したり社会福祉協議会などの力を借りてボランティア活動が身近なものに感じられるような取り組みを考えていく。

【学識経験者の意見】

- ・ 適切な施策と思われる。
- ・ 特に幼稚園の取り組みが素晴らしい。

令和3年度宇多津町教育方針の施策目標の点検・評価調査表

施策目標	2 地域ぐるみで子どもを育てる環境づくり
施策項目	(2) 他者への思いやりや自尊感情の育成
事業内容	② 異年齢交流活動事業の推進

令和3年度実施内容	
目標値から見た実績値や進捗度が分かるものがあれば、それも記述・図示してください。	
<p>< 子ども会活動 ></p> <p>1. 町補助金 年間495,000円</p> <p>2. 加入者数 幼 児：28名（昨対比+7名）小学生：148名（同+16名）中高生18名（同+7名） 育成者：154名（同+22名）<u>合 計：348名（同+52名）</u></p> <p>3. 単位子ども会数 8単会（昨年度より増減なし）</p> <p>4. 町子連 異年齢交流活動実施事業 ※参加人数については子ども（高校生以下）のみ</p> <p>令和3年 6月20日（日） ニューソフトバレーボール大会 … 中止</p> <p>令和3年 6月27日（日） わくわくイベント「ちび輪ピック」… 116名 （ニューソフトバレーボール大会代替行事）</p> <p>令和3年 6月下旬 田植え体験教室 … 中止</p> <p>令和3年 7月下旬 デイ、一泊キャンプ … 中止</p> <p>令和3年 8月28日（土） わくわく縁日 … 中止 （キャンプ代替行事）</p> <p>令和3年10月下旬 稲刈り体験教室 … 中止</p> <p>令和3年10月下旬 太鼓台運行事業 … 中止</p> <p>令和3年11月28日（日） 秋のスポーツ大会（ドッジボール）… 74名</p> <p>令和3年12月下旬 もちつき大会 … 中止</p> <p>令和4年 2月27日（日） わくわくイベント「脱出ゲーム」… 中止</p> <p style="text-align: right;">合計 190名</p>	

目標達成に向けた今後の課題
<p>昨年度に比べ会員数は増加したが、新型コロナウイルス感染症の影響により事業数は減少した。屋外で感染対策を十分に取りながらできるイベントを考えて開催した「ちび輪（りん）ピック」については、100名を超える子どもたちが参加し好評であった。</p> <p>次年度についても、感染症対策は継続してイベントを開催していくことになるであろうが、これまでのコロナ禍の経験を活かして、安全に参加できるような内容を考えていくとともに、会員数増加を図る取り組みを進めていきたい。</p>

【学識経験者の意見】

<ul style="list-style-type: none"> ・いわゆる、子ども会活動と思われるが、町の補助金が約50万円弱支出されているので、有効活用をお願いしたい。 ・「ちび輪ピック」の参加者数が116名というのはすごいことだ。
--

令和3年度宇多津町教育方針の施策目標の点検・評価調査表

施策目標	2 地域ぐるみで子どもを育てる環境づくり
施策項目	(3) 家庭教育活動の推進並びに支援体制づくり
事業内容	① 家庭教育支援体制づくり並びに学習機会の拡充

令和3年度実施内容	
目標値から見た実績値や進捗度が分かるものがあれば、それも記述・図示してください。	
1. 学習機会の効果的な提供	就学時健康診断や保護者会、参観日など、多くの保護者が集まる機会を活用した学習機会を作る。
宇多津幼稚園	3/4「いのちの誕生」出前講座 参加者：39名 講師：田中幸子先生、鈴木佳奈子先生
宇多津北小学校	11/18 「令和4年度入学周知会、家庭教育学級」 参加者：86名 講師：香川県教育委員会事務局 生涯学習・文化財課 大藪久美子 先生

目標達成に向けた今後の課題
<ul style="list-style-type: none"> ・ 社会全体で人間関係が希薄になる中、親子の育ちを支える機会が少なくなっている。 ・ 例年入学説明会等、保護者が集まる機会に家庭教育を行ってきたが、感染症の影響で集まる機会自体がなくなっているため、タブレット等を利用して、オンラインでの講座案内なども考慮し、新しい生活様式にあった家庭教育を進めていく。 ・ 地域社会で人間関係が希薄になっている中、親子の育ちを支える機会が少なくなっているため、コロナ禍であるが、地域の方が参加する行事等の機会があれば、積極的に家庭の教育力の向上を図る。

【学識経験者の意見】

<ul style="list-style-type: none"> ・ 可能であれば講演の内容をビデオなどで記録していければよいと思う。
--

令和3年度宇多津町教育方針の施策目標の点検・評価調査表

施策目標	2 地域ぐるみで子どもを育てる環境づくり
施策項目	(3) 家庭教育活動の推進並びに支援体制づくり
事業内容	②家庭教育力の向上 ③「家庭の日」(毎月第3日曜日)の推進

令和3年度実施内容

目標値から見た実績値や進捗度が分かるものがあれば、それも記述・図示してください。

家庭を取り巻く社会環境の変化により家庭教育を社会全体で支えていくことの重要性が高まっている。家庭教育力の向上を図るため、家庭や家庭教育の重要性への理解を深める啓発活動を通して推進していく。

1. 「家庭教育啓発月間」の啓発
町広報誌7月号にて家庭教育啓発月間(7月1日～8月31日)を掲載。
2. 「家庭の日」の推進
 - ①家庭の日(毎月第三日曜日)に合わせて、情報メールの送信。
 - ②家庭の日の作品募集・作品展の開催
日程：11月20日～11月28日(宇多津小学校、宇多津北小学校、宇多津中学校)
場所：うたづ海ホテル
作品：宇多津小学校児童作品(57点)
宇多津北小学校児童作品(9点)
宇多津中学校生徒作品(2点)

目標達成に向けた今後の課題

- ・家庭教育を支援するため、個々の家庭の自主性を促せるような啓発、情報提供を行う。
- ・社会全体で子どもの育ちを育むため、地域の教育力の向上を図る地域活動の推進及び啓発活動を行う。
- ・情報の送信のみでなく、作品展などで感想を聞くなど、どのような影響を与えられているかを聞く。

【学識経験者の意見】

- ・家庭教育の啓発のために、作品展も違った形態で実施できるのではないか。

令和3年度宇多津町教育方針の施策目標の点検・評価調査表

施策目標	2 地域ぐるみで子どもを育てる環境づくり
施策項目	(4) 人権尊重の意識を養う人権・同和教育の推進
事業内容	① 研修機会の充実

令和3年度実施内容

目標値から見た実績値や進捗度が分かるものがあれば、それも記述・図示してください。

- ・ 5月 第62回香川県人権・同和教育研究協議会<書面開催>
坂出綾歌企業人権・同和教育推進協議会総会<書面開催>
- ・ 7月 第68回四国地区人権教育研究大会（紙上報告）
- ・ 8月 宇多津町人権・同和教育推進協議会総会（紙上報告）
香川県 人権・同和問題Web講演会（オンライン講座）
- ・ 10月 第36回香川県人権・同和教育研究大会（紙上報告）
- ・ 11月 第72回全国人権・同和教育研究大会（紙上報告）
- ・ 2月 坂出綾歌企業人権・同和教育推進協議会研修会及び春の懇談会（中止）

目標達成に向けた今後の課題

人権に関する理解を深め、人権意識の高揚のため、人権研修を開催する。
新たな人権課題に対応できる、また多様性社会に適応できる研修内容を検討する。
今年度は新型コロナウイルス感染症によりほとんどが、紙上報告や中止となっている。

【宇多津町人権・同和教育推進協議会総会研修会】

1. 啓発対象者について

令和3年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、総会資料をもつての報告となった。研修会の案内者は、教育委員、人権擁護委員を中心とした各種委員等のそれぞれの指導的な立場の方及び坂出綾歌企業人権・同和教育推進協議会に所属する町内企業であるが、企業の参加が特に少ないので、より参加が得られるような啓発等を検討する。

2. 研修の題材について

国際化や情報化等の社会の変化により多様化する人権問題について、人権意識を高めていけるような啓発内容の研修会をオンライン研修やDVD視聴研修等も検討して開催する。

【学識経験者の意見】

- ・ 開催がオンラインや紙上報告の形になってしまうのは、コロナ禍のこの時期であれば仕方ない。
- ・ 現状施策の継続的な実施を。
- ・ コロナ下によりオンラインや紙上報告にならざるを得ないと思われる。
- ・ 立てりは異なるが、「平等」という点からは、男女共同参画との棲み分けが必要か。

令和3年度宇多津町教育方針の施策目標の点検・評価調査表

施策目標	2 地域ぐるみで子どもを育てる環境づくり
施策項目	(4) 人権尊重の意識を養う人権・同和教育の推進
	② 広報・啓発活動の充実

令和3年度実施内容

目標値から見た実績値や進捗度が分かるものがあれば、それも記述・図示してください。

1. 人権作品展の開催

1. 内容

宇多津町立の保育所・幼稚園・小学校・中学校においては人権尊重の教育を推進しており、その学習成果の一端を展示し、人権尊重への認識を深めるとともに、住民への人権尊重の啓発を行う。

2. 出品者

宇多津町立保育所・幼稚園・小学校・中学校の園児・児童・生徒

3. 出品物

ポスター、標語、習字、作文、詩、その他軸に貼れるもの

4. 人権展

●人権作品展・・・期間:9月10日(金)～10月7日(木)

会場:ユープラザうたづ エントランスホール

広報・周知:広報9月号において、開催に関する記事を掲載。

作品を出品している児童生徒には、参加賞の袋に展示期間・場所を記載し周知

●「私の考えを語る会」人権展・・・中止、出品予定の作品は「人権・同和だより」に掲載

2. 『人権・同和教育だより』の作成

1. 内容

世界人権宣言が採択された12月10日を「人権デー」とし、毎年12月10日を最終日とする1週間(12月4日～12月10日)を「人権週間」と定めている。

この人権週間にあわせて、坂出市、綾川町、宇多津町では、地域で人権尊重の認識を深めるためにパンフレットを作成している。

○今回の記事の担当 同和問題(部落差別)について・・・坂出市

障がい者の人権について ～「共生社会」をめざして～・・・宇多津町

人権感覚を高めよう・・・綾川町

3. 教職員の研修

1. 内容

町(住民生活課)主催の現地研修会(11月9日 西庄文化センター)に、現地研修が初めての教職員が町職員と一緒に参加し、個々の人権意識の向上を図った。内容は、講話、施設見学

坂出市・宇多津町中学校教職員を対象とした現地研修会(12月3日)に宇多津町からは、校長、新採教諭が参加し、「部落差別の現状と課題について」をテーマに個々の人権意識の向上を図った。

目標達成に向けた今後の課題

- ・コロナ禍で2年間町連携夏季研修会で人権研修会を開催できてない。特に若年教諭は様々な研修会が中止となり、十分な研修ができてない。町内教職員の人権意識の向上を図るために、次年度は、ぜひ、研修会を開催したい。
- ・各学校には、年々外国人の子どもが増加している。外国人の人権についても研修テーマの一つとしたい。

【学識経験者の意見】

- ・現状施策の継続的な実施を。

令和3年度宇多津町教育方針の施策目標の点検・評価調査表

施策目標	2 地域ぐるみで子どもを育てる環境づくり
施策項目	(5) 宇多津を誇りに思う心を育成する教育の推進
事業内容	① 地域の伝統文化を学習する機会の充実 ～成人式～

令和3年度実施内容	
目標値から見た実績値や進捗度が分かるものがあれば、それも記述・図示してください。	
1. 日 時	令和4年1月9日(日) 13:30~14:00
2. 開催場所	ユープラザうたづ
3. 対象者	平成13年4月2日~平成14年4月1日生まれの男性107名、女性107名
4. 参加人数	男性76名(昨対比▲3名)、女性64名(▲28名) 計140名
5. 内 容	町長式辞、来賓祝辞、成人代表誓いのことば、恩師の先生方からメッセージ動画
6. 費 用	520,050円(記念品代211,200円、記念写真代158,400円、会場借上料102,450円、いけばな展示委託48,000円)
7. 実行委員会	8月30日より、計3回実施。 ○担当者役割分担 ・司会(式典等の司会) ・誓いのことば(謝辞) ・受付(資料の封入、受付・配布、来賓へ花をつける) ・広報原稿(2月号広報の原稿) ・アトラクション(準備・片付け・操作) 内容: 恩師ビデオメッセージ ・パンフレット(表紙のデザイン) ○記念品内容 ・タンブラー

目標達成に向けた今後の課題	
1. 参加率について	本年度の参加率は65%(昨対比▲1%)と、昨年度と同程度の参加率であった。昨年度コロナ禍で開催した経験を活かして、安全な式典を開催することができた。参加者からも、開催についてのお礼の言葉を頂戴し、満足度が高かったことが伺えた。新成人による実行委員会を立ち上げることで、友人への声掛けなどから高い出席率を期待できることから、今後も継続して募集していきたい。
2. アトラクションの選定	恩師からのメッセージ動画は、新成人が担当した。新成人が、自ら各恩師のもとへ足を運び、撮影協力の依頼することで先生方も快く出演して下さった。努力の末、当日は動画に恩師が映る度に、懐かしむ表情を浮かべていた。今後も、新成人の要望に沿った内容を実現できるようサポートしていきたい。
3. 運営	成人式を新成人にとって自立するための一つの節目とし、町の出身者として郷土愛を育むため、より自主的な運営を図りたい。 また、次年度より成人年齢が18歳へ引き下げられることから、式典の名称や対象者の年齢を協議し決めていく必要がある。

【学識経験者の意見】

- ・多くの参加者を得て、素晴らしい行事になっている。
- ・現状施策の実施を。
- ・成人年齢は引き下げられたが、飲酒などは変更なし。法律上と生活上は別とするかの問題など、社会的な推移を見て変更するか考えるべきだとは思う。

令和3年度宇多津町教育方針の施策目標の点検・評価調査表

施策目標	2 地域ぐるみで子どもを育てる環境づくり
施策項目	(5) 宇多津を誇りに思う心を育成する教育の推進
事業内容	① 地域の伝統文化を学習する機会の充実 ～宇多津検定～

令和3年度実施内容	
目標値から見た実績値や進捗度が分かるものがあれば、それも記述・図示してください。	
1. 日時	令和3年12月17日(金)
2. 場所	宇多津中学校各教室
3. 対象者	宇多津中学校1, 2年生 290名(1年生136名、2年生154名 前年対比32名減)
4. 合格者	37名(1級:1名、2級:9名、3級:27名) 合格率12.7% 前回合格者43名 平均点50.08点(1年生:45.77点、2年生:53.89点) 前回53.0点
5. 出題範囲	町の成り立ち、古街関連 産業 観光関連、おひなさん 町の歴史、祭り関連、文化財 宇多津町出身者 予習帖、四国水族館について(自主学習)
6. 結果	試験範囲: 検定本全体とすべき7.4% 広くすべき10.9% ちょうどよい39.3% もっと狭くするべき42.5% 問題数: 多い35.7% ちょうどよい58.4% 少ない5.9% 難易度: 難しい69.0% 普通29.3% 易しい1.7%

目標達成に向けた今後の課題	
1 実施の時期	本来の目的においては全生徒の受検が望ましいが、3年生は高校入試の直前となるため、受検対象外としている。
2 出題範囲について	勉強時間の確保のため、本年度よりタブレットを用いて検定本や予習帖を通知し、いつでも自主的に勉強できるようにしたが、テスト内容が難しいとの意見が多く見受けられたためテスト自体を易しくするか、テスト範囲を狭める等の対応を考慮する。 出題内容が毎年同じような内容となっていたため子どもたちの勉強意欲を出させるため水族館について出題したが余計に難しく感じさせてしまったようだ、来年度からは宇多津町の新しい知識を入れつつ難易度についても考慮する。
3 目的の再確認と情報の更新	地元の歴史・文化を知ると、郷土をより愛することができる。他市町がご当地検定を取りやめていく中、子ども達の意見では宇多津町の事を詳しく知れてよかった等、宇多津町に住んでいても子ども達が知らなかった内容も多くあるので昔の内容は残しつつ、最新のないようについては、予習帖や検定本を更新するなどして対応していく。

【学識経験者の意見】

- ・全国的には「〇〇検定」は下火になっているように思われるが、中学生の郷土学習としては適切と思われる。ただ、準備＝テキスト等が負担になると思われる。
- ・これからも独自性を維持してほしい。

令和3年度宇多津町教育方針の施策目標の点検・評価調査表

施策目標	2 地域ぐるみで子どもを育てる環境づくり
施策項目	(6) いじめ等問題行動から子どもを守るネットワークの充実
	① 子どもを守るネットワークの充実 ～いじめ防止等対策委員会～

令和3年度実施内容

目標値から見た実績値や進捗度が分かるものがあれば、それも記述・図示してください。

宇多津町いじめ防止条例に基づき、いじめ防止対策等委員会を開催

1. 宇多津町いじめ防止等対策委員会の開催 令和3年9月10日

(1) 委員の構成 委員4名

(2) 内容

① 小中学校のいじめ防止の取り組みと現状について

② 各委員から

- ・ いじめとして取り上げる人数、先生方のいじめに対する意識の差が学校によって大きな差がある。
- ・ SNSの指導。解決に至っていない。
- ・ 学校でいじめ等問題行動情報を共有し、学校全体で見守り、かかわっていく体制が確立できているか
- ・ コロナ関連のいじめは発生しているか。→ ない。
- ・ スクールカウンセラーとの連携

2. いじめの発生状況

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	内 訳 (人)					
				1年	2年	3年	4年	5年	6年
宇多津小学校	1	89	33	9 2	9 1	7 5			
宇多津北小学校	5	41	27	11 0	2 2	11 1			
宇多津中学校	23	16	55	20	27	8			
計	29	146	115						

目標達成に向けた今後の課題

- ・ いじめとしての認識について、全教員（管理職も含める）で共通理解を図ることが必要である。
- ・ 各学校においては、継続してスクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーに学校の情報を十分報告し連携するとともに、担任等と家庭訪問していただいたり、専門的な立場で指導をお願いする。
- ・ 町連携の部会等において、町内学校の児童生徒の現状や教員の悩みから、今後の対応等について指導をしていただく。

【学識経験者の意見】

- ・ 良い取り組みがなされている。
- ・ いじめ等の問題行動から子どもをも守るネットワークの充実は避けて通れない問題であり、教育行政との関わりが大きい。
- ・ いじめに関しての、各学校の「上位組織」としての意味はあると思われる。ただ、「把握」から「実行」に移すのが難しいと思われる。

令和3年度宇多津町教育方針の施策目標の点検・評価調査表

施策目標	2 地域ぐるみで子どもを育てる環境づくり
施策項目	(6) いじめ等問題行動から子どもを守るネットワークの充実
	① 子どもを守るネットワークの充実 ～サポートチーム連携協議会～

令和3年度実施内容

目標値から見た実績値や進捗度が分かるものがあれば、それも記述・図示してください。

1. 宇多津町サポートチーム連絡協議会について

宇多津町立学校に在籍する児童・生徒の問題行動が発生した場合、学校、教育委員会及びその他関係機関が協力し、解決に向けた具体的な支援策の検討及び実施の適切な対応を図るために、ネットワークシステム(連携協議会)を構成する。

2. 令和3年度「宇多津町サポートチーム連携協議会」の開催

(1)日時:令和3年8月2日(月) 15:00～16:00

(2)場所:宇多津保健センター 4階大会議室

(3)参加構成機関:坂出警察署生活安全課、宇多津交番、町少年育成センター(サポートチーム指導員)

主任児童委員、町保健福祉課相談支援センター、各小・中学校、スクールソーシャルワーカー
町PTA連絡協議会、町教育委員会事務局 参加人数 17人

(4)内容(情報交換及び成果と課題)

- ・学校…小学校:児童の状況、指導状況・課題(長欠児童、虐待・ネグレクト、いじめ、暴力行為 等)
中学校:生徒の状況、指導状況・課題(問題行動:暴力・触法行為・いじめ・携帯電話を介したトラブル
不登校の状況、交通事故の状況)
- ・坂出警察署(宇多津交番)…坂出署管内の少年非行について(非行少年の検挙・補導人員の推移、
非行少年の学識別・罪種別、初発型非行少年の検挙・補導状況、
不良行為少年の補導状況)
- ・少年育成センター…宇多津町少年育成センター活動年間集計
(街頭補導状況、相談状況、環境浄化活動、不審者情報)
- ・主任児童委員…かかわっている子どもについて(ヤングケアラについて、甘えを認めてあげることも大切 等)
- ・町相談支援センター…児童家庭相談状況
- ・町PTA連絡協議会…2月に子育て研修会の実施
青パト研修会(17名受講)

目標達成に向けた今後の課題

- ・現在町内に大きな問題は起きていないが、学校を核とした関連機関が、地域の子どもたちの現状を共有する場は、コロナ禍の状況にかかわらず設ける必要があり、問題が起きた時に迅速に対応できる体制を常に構築しておく必要がある。
- ・近年、携帯電話を介した問題が発生しているので、使用者が自分の問題として捉え、対策について考えることができるような対象者別研修を行う必要がある。

【学識経験者の意見】

- ・現状施策の実施を。
- ・各学校の「上位組織」としての意味はあると思われるが、各学校・教員等へのフィードバックが難しいのではないか。

令和3年度宇多津町教育方針の施策目標の点検・評価調査表

施策目標	2 地域ぐるみで子どもを育てる環境づくり
施策項目	(6) いじめ等問題行動から子どもを守るネットワークの充実
事業内容	① 子どもを守るネットワークの充実 ～ 宇多津町虐待防止対策ネットワーク協議会 ～

令和3年度実施内容 目標値から見た実績値や進捗度が分かるものがあれば、それも記述・図示してください。										
宇多津町虐待防止対策ネットワーク協議会										
児童部会										
(1) 児童相談種別件数 257件 (R2 240件)										
養護		障害		非行		育成		その他		計
児童虐待	その他	発達障害	ぐ犯触法	性格行動	不登校	特定妊婦	DV	その他	257	
126	60	4	3	5	5	14	4	36		
(2) 虐待への対応 126件 (R2 98件)										
(3) 要保護児童対策地域協議会										
①実務者会：月1回定例開催し、要保護児童、特定妊婦、DVなどの個別事例について、関係機関多職種に参加で、支援状況などについて情報交換し、課題の共有、役割分担等を行う。										
②進行管理会：年2回、上期と下期に分けて、実務者会で検討している事例について、主担当機関で援助方針の確認や見直しを行う。										
③個別ケース検討会 34回 (R2 34回)										
児童虐待など要保護児童及び家庭への支援過程において、情報の共有、課題の整理、支援の環境の変化や問題発生など協議が必要と判断された場合、支援している関係機関に集まってもらい個別ケース検討会を開催し、情報の共有、課題の整理、支援の方向性を検討する。										
【主たる相談種別】身体的虐待 心理的虐待 ネグレクト 不登校その他の養護相談										
(4) その他の取り組み										
①宇多津町教育連携協議会 夏季研修会 コロナ禍のため中止										
②児童虐待防止の普及啓発										
・虐待防止キャンペーンポスター全戸配布、町内施設、学校等に配布										
・オレンジリボンキャンペーンのぼり旗の設置、オレンジリボングッズ作成・配布										
・11月 児童虐待防止推進月間における啓発										
・坂出警察署との合同街頭キャンペーン										

目標達成に向けた今後の課題	
1. 本業務について	保健福祉課の相談支援センターが要保護児童対策地域協議会の調整機関として、各機関・団体が参加し各家庭への支援の仕方やその子どもへの対応について検討する。教育委員会独自の事業ではないが、情報交換、家庭訪問等を連携して行い、学校からケース会の要望があれば、教育委員会も参加して今後の対応について協議する。
2. 今後の課題	協議会で扱う件数が増加している。複雑・困難化しているケースに対し、関連機関が情報を共有し十分連携して支援を行うことにより、案件を徐々に終結に向けて進めていきたい。 要保護児童対策地域協議会の対象者数増加に伴い報告件数も増え、担当者は、報告書作成に時間を要している。また、出席者は保管資料の枚数がどんどん増加しているので、今後、報告様式、報告の方法を検討する必要がある。

【学識経験者の意見】	
・先進的に取り組んでいる地域の施策を取り入れ、対応をさらに強化してはどうか。 ・関係する部局と連携し、さらに協議を進めてほしい。 ・現状施策の継続的な実施を。	

令和3年度宇多津町教育方針の施策目標の点検・評価調査表

施策目標	2 地域ぐるみで子どもを育てる環境づくり
施策項目	(6) いじめ等問題行動から子どもを守るネットワークの充実
事業内容	① 子どもを守るネットワークの充実 ～ 少年育成センター業務 ～

令和3年度実施内容

目標値から見た実績値や進捗度が分かるものがあれば、それも記述・図示してください。

1. 巡回指導活動 ・育成指導員…55名 補導回数/年間…140回 延べ従事数/年間…449人
 ・新型コロナウイルス感染拡大により制限を設け実施
 ・子どもたちへの挨拶・登下校における見守り活動が中心

行 為 名	就学前		小学生		中学生		高校生		大学生		一般		合 計	
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
道交法違反					14	7	2						16	7
校則違反														
たむろ														
ゲームコーナー声かけ														
帰宅促し					8		2						8	2
下校等声かけ	1		364	368	282	243	5						652	611
危険行為														
（遊泳）					17	6	5						22	6
（池釣り）			3		1								4	
（公園声かけ）	18	18	36	24									54	42

2. 相談活動	内訳	不登校	学校関係	進路	家族関係	精神・発達	その他	合計
	件数	10	3	2	2	2	1	20

3. 環境浄化活動 白ポストの回収/毎月（町内6基）
 回収数/年間 本：290 ビデオ：51 DVD：290 合計：631

4. 広報・啓発活動 青少年健全育成活動における地域・関係機関と連携

5. 教育支援センター活動 学校やSSWと連携し集団生活への復帰を目標に支援

目標達成に向けた今後の課題

1. 巡回指導活動

○コロナ禍における対応について

活動の可否について判断が難しい。警察の補導活動や青色防犯パトロールとの情報交換により、巡回車内における感染のリスクなどを考慮し検討していく。

2. 教育支援センター活動

○通級生低年齢化による支援の在り方

児童・保護者の話に耳を傾け、丁寧に対応する事により、親子から信頼される居場所を目指していく。

【学識経験者の意見】

- ・充実した取り組みがなされていると思う。
- ・現状施策の実施を。

令和3年度宇多津町教育方針の施策目標の点検・評価調査表

施策目標	3 活力ある地域コミュニティの育成
施策項目	(1) 文化・芸術活動並びに伝統文化伝承活動の推進
事業内容	① 研修活動等の充実並びに地域の伝統文化の保存・継承活動の支援 ～ 令和相聞歌 ～

令和3年度実施内容 目標値から見た実績値や進捗度が分かるものがあれば、それも記述・図示してください。
<p>1. 事業内容</p> <p>○令和元年度より四国医療専門学校との連携事業「令和相聞歌実行委員会」を立ち上げ事業を実施。</p> <p>○携帯電話やパソコンのメールで「令和相聞歌」を募集。(募集期間：9/1～11/11)</p> <p>○募集チラシは、町内公共施設、学校、県内外報道機関、県内市町教育委員会、県関連機関 県外高校文芸部等に配布。</p> <p>○選考：(1次選考) 期間内の応募作品の中から選考委員により71作品程度が選ばれる。 (2次選考) 一般の方のインターネットによる人気投票の結果を考慮し、選考委員により、最終選考を行った。</p> <p>最優秀作品1点、優秀作品3点、特別賞10点、四国新聞社賞・四国医療専門学校賞各5点</p> <p>○授賞式 中止 (サイトにて受賞作品を公開)</p> <p>○交流会 中止</p> <p>○除幕式 中止</p> <p>2. 事業実績</p> <p>応募数： 令和3年度(第3回) 4,554 (令和相聞歌：応募は一人3作品まで) 平成30年度(第12回) 7,952 令和元年度(第1回) 1,808 令和2年度(第2回) 2,349</p> <p>3. 補助金</p> <p>1,452千円/年 (R3年度は事業内容の変更により448千円返金。)</p>

目標達成に向けた今後の課題
<ul style="list-style-type: none"> ・ 町民に事業内容を知ってもらい、町民からの応募作品も増やせるよう、広報啓発方法の検討をすると共に地域の文化に興味・関心をもたせ、文化水準を高める事業を開催する。 ・ コロナウィルス感染症による影響も考えられることから、事業がスムーズに進められるよう会議の運営を図る。 ・ 記念イベントの一つとして実施した、「うたづっこ俳句コンクール」を園児・児童・生徒が関心を持ち、応募者が増加するように検討もしつつ、継続していく。

【学識経験者の意見】
<ul style="list-style-type: none"> ・ こうした事業を、どのようにして広く町民等に知らせるかが課題ではないか。 ・ 令和元年度より応募者数は回復しているが、宇多津町を主体とした事業への見直しは必要ないか。

令和3年度宇多津町教育方針の施策目標の点検・評価調査表

施策目標	3 活力ある地域コミュニティの育成
施策項目	(1) 文化・芸術活動並びに伝統文化伝承活動の推進
事業内容	① 研修活動等の充実並びに地域の伝統文化の保存・継承活動の支援 ～文化財保護～

令和3年度実施内容

目標値から見た実績値や進捗度が分かるものがあれば、それも記述・図示してください。

<p>1. 文化財保護委員会事業</p> <p>(1) 保護委員会の開催について</p> <p>令和3年 8月10日(火)</p> <p>令和3年12月21日(火)</p> <p>令和4年 3月25日(金)</p> <p>(2) 報告事項・委員研修など</p> <ul style="list-style-type: none"> ・宇多津町内の文化財について ・県指定有形文化財「船屋形茶室」見学 ・西光寺蔵「記録由緒書」について <p>2. 文化財保護協会事業</p> <p>(1) 会員数について</p> <p>県・町会員 25名 町会員19名 計44名</p> <p>(2) 補助金について(コロナウィルス感染症による事業変更のため本年度は減額)</p> <p>年間126,000円 細川頼之研究事業補助金 95,000円</p> <p>(3) 実施事業について</p> <p>総会(書面決議)、研修会(町内研修)</p> <p>HPの充実(活動内容や関係文書の掲載)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和3年度累計HP訪問者538名、関係書類DL数3676回
--

目標達成に向けた今後の課題

<p>1. 文化財保護委員会事業について</p> <p>新規に、文化財保護委員に文化財専門員である県職員の方などに参画していただいたことで、意見等をいただき、会の運営に生かしていく。</p> <p>2. 文化財保護協会事業について</p> <p>文化財保護協会会員が研修を重ね、宇多津の歴史を会員や一般の聴講者にもわかりやすく説明する。自らが研究し、積極的な活動が見られており、本年度は外部への発信としてHPの充実を行った。また、感染症が落ち着いてきたら幼稚園で茅の輪くぐりなどを行い、子ども達に対しても理解しやすい範囲でアピールしていく。</p> <p>3. 文化財の保存・活用について</p> <p>有形文化財、無形文化財ともに資料を後世に残すとともに、写真や書面で詳しく知る人物の知識を残し、きちんと整理、保管していく。</p>

【学識経験者の意見】

<p>・現状施策の実施を。</p>

令和3年度宇多津町教育方針の施策目標の点検・評価調査表

施策目標	3 活力ある地域コミュニティの育成
施策項目	(2) 地域住民ニーズに対応した生涯学習講座の充実
事業内容	① いつでも・どこでも学ぶことができる学習機会の提供 ～女性セミナー～

令和3年度実施内容 目標値から見た実績値や進捗度が分かるものがあれば、それも記述・図示してください。	
男女共同参画社会に対応した社会づくりを目指し、女性の視点から講座を開設・実施する。	
1. 年間活動及び参加者数	
(1) 郷土料理教室（講義）【5/21】	参加者 13名
(2) 交通安全教室 【7/21】	参加者 10名
(3) 防災学習 【10/20】	参加者 18名
(4) 県外研修	中止
(5) 体操教室	中止
(6) 歴史文化を学ぶ	中止
2. 会員人数	
48名	（令和2年度：51名、令和元年度：75名）
3. 延べ参加人数	
41名	（令和2年度：15名、令和元年度：133名）

目標達成に向けた今後の課題	
1. 企画について	要望による講座内容や講座方法等を検討して対面での講座実施であったが、今年度も前年度に続いて後半は新型コロナウイルス感染症対策により行事が中止となった。 コロナ禍での講座の開催について、引き続き内容や方法等の検討を重ねていく。
2. 会員数・参加者数について	会員数は前年度とほぼ同数である。 会員・参加者が特定の人にならないよう、また新規者が増加するような講座を検討をする。

【学識経験者の意見】
<ul style="list-style-type: none"> ・ コロナの状況下で2ケタの参加者があったことは大事なことです。 ・ 現状施策の実施を。

令和3年度宇多津町教育方針の施策目標の点検・評価調査表

施策目標	3 活力ある地域コミュニティの育成
施策項目	(2) 地域住民ニーズに対応した生涯学習講座の充実
事業内容	① いつでも・どこでも学ぶことができる学習機会の提供 ～宇多津大学～

令和3年度実施内容			
目標値から見た実績値や進捗度が分かるものがあれば、それも記述・図示してください。			
高齢者が健康で明るく生きがいのある生活が送れるよう、社会参加及び学習の機会を提供する。			
1. 年間活動及び参加者数			
(1) 生活習慣病予防の運動教室		参加者	54名
(2) 介護保険制度と認知症予防について		参加者	53名
(3) 食べることは生きること (11月に変更)		参加者	54名
～毎日の食事をたのしむことが元気の源です～			
(4) 高齢者の交通事故防止		参加者	53名
～交通事故とその責任～			
(5) 町外研修		中止	
(6) コーラス		中止	
2. 会員数			
	97名 (前年113名)		
3. 行事参加者数			
延べ213名 (2講座中止)	R 2年度	242名	
	H31年度	356名	

目標達成に向けた今後の課題
1. 講座の企画について
香川県消費生活センターが行う「くらしのセミナー」を中心に計画している。講座一覧より、参加者に希望を伺うことで、関心の高いテーマで事業の実施ができているものとする。今後も老人会と連携し、事業の展開を図る。
2. 会員数・参加者数について
会員数は若干の変動はあるもののほぼ一定数である。参加人数についてはコロナ禍の影響もあるが、減少傾向にあるため、講座の内容、開催時期、時間なども考慮しながら参加人数の増加を目指す。

【学識経験者の意見】

<ul style="list-style-type: none"> ・現状施策の実施を。 ・動画として記録しておくのもよいのではないか。

令和3年度宇多津町教育方針の施策目標の点検・評価調査表

施策目標	3 活力ある地域コミュニティの育成
施策項目	(2) 地域住民ニーズに対応した生涯学習講座の充実
事業内容	② 住民が学んだ成果を住民のために活かす仕組みづくり 「知の循環」

令和3年度実施内容

目標値から見た実績値や進捗度が分かるものがあれば、それも記述・図示してください。

1. 生涯学習講座

①講座内容、実施日数、時間、受講者数

- 楽しく&エクサ 6日(2h/日) 21名
- 宇多津の歴史講座 6日(2h/日) 19名
- 水引で小物を作ろう 前半後半各4回(2h/日) 前半:5名 後半:6名
- 危険物取扱者資格取得講座 6日(1.5h/日) 11名
- スマホ体験教室 前半後半各8回(2h/日) 前半:20名 後半:16名
- 合計5講座 受講者数合計 98名

②募集方法、期間

方法:4月広報へ講座要項及び申込用紙を挟み込み。事務局窓口にて申込受付。
期間:4月5日(月)～4月16日(金) 2週間

2. 香川短期大学との連携事業 カルチャー講座 (委託料 50,000円/年)

①講座内容、実施日数、時間、受講者数

- プログラミングに挑戦 ブロックリーゲームを体験しよう 1日(2h) 6名
- 親子料理教室(クリスマス料理) 1日(2.5h) 親子11組25名
- 大人が愉しむ絵本講座～絵本の絵を読む～ <感染症の影響により中止>
- 認知症サポーター養成講座 1日(2h) 2名
- 合計3講座 受講者数合計 33名

②募集方法

香川短期大学のHP及び町広報誌にて周知。

目標達成に向けた今後の課題

○講座数・内容・回数の検討

受講生を対象としたアンケート調査を参考に、公民館運営審議会等において、ニーズに合った講座内容の検討を十分に行う。

○受講後の支援

生涯学習講座で学んだことを活用できる自発的なサークル活動の結成支援及び既存団体の会員増加に繋げられるような支援を行う。

○大学との連携事業

大学の専門性、得意分野を活かした講座の開催を促し、大学との連携を通じて地域力の向上を図る。

近年は、感染症の影響により講座数及び参加人数が減少傾向にあるため、コロナ禍においても安全に開催できるような内容を検討しなければならない。

【学識経験者の意見】

- ・住民のニーズに合った講座の開講が必要だが、どのようにつかんでいるか。カルチャー講座については、大学との連携接続を的確に。

令和3年度宇多津町教育方針の施策目標の点検・評価調査表

施策目標	3 活力ある地域コミュニティーの育成
施策項目	(3) スポーツ・レクリエーション活動の充実
事業内容	① 指導者養成並びに活動支援体制づくり ～大松杯バレーボール大会～

令和3年度実施内容

目標値から見た実績値や進捗度が分かるものがあれば、それも記述・図示してください。

【第28回大松杯バレーボール大会】

令和3年度は全国的な新型コロナウイルス感染症拡大が収まらず、各県代表チームを招待して大会を開催する事が困難であり、本大会への参加関係者への健康を配慮し、大会の中止を決定した。

1. 運営委員会：大会中止のため、会議は中止とする。
2. 常任委員会：書面評決の実施
3. 実行委員会総会：書面評決の実施

目標達成に向けた今後の課題

- ・新型コロナウイルスの感染症拡大による大会の開催の検討
県外からの参加になるので、開催の有無の判断を状況を見つつしていく。また、大会中止が続くことで次回の開催時の運営が心配されるため、引継ぎ、過去の資料は分かりやすく保管、管理する。
- ・運営内容の検討
競技役員の高齢化により運営が困難になっている点が見られる。他大会の事例を確認し、競技役員の負担軽減につながるものがあれば検討する。
- ・競技役員の確保
現在の競技役員からの紹介を中心に、新たな競技役員の確保に努める。

【学識経験者の意見】

- ・実施できず残念です。
- ・伝統はあるが、全国的なバレーボール人気（人口）の推移が影響している。コロナ下でもあり、根本的な見直しの可能性はないか。地元の小学生・中学生等のチームから構築していくことも考えられるのではないか。

令和3年度宇多津町教育方針の施策目標の点検・評価調査表

施策目標	3 活力ある地域コミュニティーの育成
施策項目	(3) スポーツ・レクリエーション活動の充実
事業内容	① 指導者養成並びに活動支援体制づくり～激励制度～

令和3年度実施内容									
目標値から見た実績値や進捗度が分かるものがあれば、それも記述・図示してください。									
1. 趣 旨	宇多津町におけるスポーツ及び文化芸能の振興を図るため、大会に参加する個人または団体に激励金を交付する。								
2. 要項改正	従来は奨励金としてスポーツ部門にのみ交付していたが、生涯学習課においては文化・芸能部門での活動も、生涯学習や社会教育の一環として住民に対し奨励していることから、文化・芸能部門の該当者にも同等な支援をするようにした。その際奨励金を激励金に改め、さらに個人及び団体への激励金年間限度額を明確にした。平成24年度4月より実施、平成27年度には、旅費の補助として交付しているという考え方により、義務教育課程への加算は取り消した。								
3. 交付人数	【以下実績】 平成26年度実績：スポーツ部門 218名 文化芸術部門 0名 総額 1,278,000円 平成27年度実績：スポーツ部門 142名 文化芸術部門 0名 総額 550,000円 平成28年度実績：スポーツ部門 201名 文化芸術部門 0名 総額 769,000円 平成29年度実績：スポーツ部門 109名 文化芸術部門 3名 総額 676,000円 平成30年度実績：スポーツ部門 97名 文化芸術部門 4名 総額 725,000円 平成31年度実績：スポーツ部門 111名 文化芸術部門 14名 総額 726,000円 令和2年度実績：スポーツ部門 9名 文化芸術部門 1名 総額 74,000円 令和3年度実績：スポーツ部門 32名 文化芸術部門 3名 総額 309,000円								
4. 交付件数	【以下実績】 <table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="text-align: center;">平成26年43件</td> <td style="text-align: center;">平成27年37件</td> <td style="text-align: center;">平成28年50件</td> <td style="text-align: center;">平成29年51件</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">平成30年51件</td> <td style="text-align: center;">令和元年79件</td> <td style="text-align: center;">令和2年12件</td> <td style="text-align: center;">令和3年37件</td> </tr> </table>	平成26年43件	平成27年37件	平成28年50件	平成29年51件	平成30年51件	令和元年79件	令和2年12件	令和3年37件
平成26年43件	平成27年37件	平成28年50件	平成29年51件						
平成30年51件	令和元年79件	令和2年12件	令和3年37件						

目標達成に向けた今後の課題
<p>○周知方法 各学校に協力していただき、大会に出場する児童、生徒の保護者に対して周知を行う。また、町HP・広報誌等に記載する。</p> <p>○祝い垂れ幕の件数について 全国大会に出場する個人・団体には祝い垂れ幕を作成しているが、作成件数が多くなる場合は、補正予算等の予算対策を講じなければならないため、裏面を使用し予算を抑える。</p>

【学識経験者の意見】
<ul style="list-style-type: none"> ・要項を改正したのは前進です。 ・スポーツに限らず、文化活動まで広げているのは適切。ただ、基準が難しいのではないか。

令和3年度宇多津町教育方針の施策目標の点検・評価調査表

施策目標	3 活力ある地域コミュニティの育成
施策項目	(3) スポーツ・レクリエーション活動の充実
事業内容	② スポーツ・レクリエーション活動を気軽に楽しむ場の充実 ～スポーツの推進～

令和3年度実施内容

目標値から見た実績値や進捗度が分かるものがあれば、それも記述・図示してください。

町民の健康増進、体力向上を目的に、スポーツ・レクリエーション事業を企画し開催する。開催後も、教室等で学んだ運動を自主的に継続して行うことができるようになることが目標。事業については、町スポーツ推進委員（男性10名・女性5名）が中心となって指導する。本年度は、昨年度に引き続き新型コロナウイルス感染症の影響により、ほぼ全ての事業が中止。

○指導・協力事業について

町：○健康ウォーク … 中止

○「ニュースポーツを体験しよう」&町民体カテスト … 中止

○第70回宇多津町子どもロードレース大会協力

県：○スポーツ推進委員研修会 … 中止

四国：○四国スポーツ推進委員研修会 … 中止

国：○東京2020オリンピック聖火リレー協力

○スポーツ推進委員任期について

令和2年度末で任期満了。今年度より14名再任、1名新任で委嘱。（令和5年度まで）

目標達成に向けた今後の課題

- ・推進委員の世代交代に向け、今年度より40代前半の委員1名委嘱。（70代委員退任）
また組織内で委員長を交代し、次世代委員のリーダーシップの向上を図っていく。
- ・ニュースポーツ体験について、この取組を契機に、サークルや団体結成に繋げ、生涯スポーツの普及に努める。
- ・コロナ禍での事業中止が相次ぎ、委員のモチベーションが低下している可能性がある。定例会などでの情報共有やコミュニケーションを図っていくことがより重要になってくると考える。

【学識経験者の意見】

- ・中止は残念だが、判断は正しいと思う。
- ・現状施策の実施を。ただし、コロナ禍の変化の把握が必要

令和3年度宇多津町教育方針の施策目標の点検・評価調査表

施策目標	3 活力ある地域コミュニティーの育成
施策項目	(3) スポーツ・レクリエーション活動の充実
事業内容	② スポーツ・レクリエーション活動を気軽に楽しむ場の充実 ～子どもロードレース～

令和3年度実施内容

目標値から見た実績値や進捗度が分かるものがあれば、それも記述・図示してください。

平成27年度から開催日を1月の第二土曜日に変更。申込方法も事前申込のみとした。昨年度は感染症対策のため、参加申込みの対象を町内小学校児童のみとしていたが、今年度は範囲を拡大し県内の児童を対象として開催した。

参加人数は140名、その内宇多津町の児童は90名（昨年度76名）であった。

《 第70回宇多津子どもロードレース大会 》

- ・ 日 時 令和4年1月8日（土）午前8時～
- ・ 会 場 宇多津北小学校グラウンド
- ・ 参加人数 男 83人 女 57人 合計 140人
- ・ 運営協力者 スポーツ推進委員5人、スポーツ協会スポーツ団体部員6人、
役場陸上部2人、役場職員11人、青年会4人
- ・ 運 営 費 町補助金 360,000円

目標達成に向けた今後の課題

○運営内容の検討

- ・ スポーツ協会陸上部への協力体制を充実していく。
- ・ 多くの児童に参加してもらうための工夫を検討していく。
- ・ 町内児童の参加者は増加し、昨年度は対象としていなかった他市町からも多くの参加があったので、感染症対策を講じながら今後は通常開催ができるように検討していく。
- ・ 今年度から安全面を考慮し、会場を宇多津小学校から宇多津北小学校に変更した。今後も安全面や走りやすさなどを考慮して、会場やコースを検討していく。

【学識経験者の意見】

- ・ 範囲拡大の計画がうまく実施できました。
- ・ 参加範囲を県内に拡大したのは適切と判断できる。現状施策の継続実施を。